

金光学園

やっなみ

2017. 7





高校入学式



中学入学式



中学ゆずり葉の会



平成28年度の「中学ゆずり葉の会」は例年通り中3から中1・中2への生徒会活動の引き継ぎの場として義務教育修了式後に、ほつま体育館で行われました。

1年生は、元気な呼びかけから始まり、美しい合唱と「ありがとう作文」で感謝の思いを伝えました。

2年生は、寸劇で会場の笑いを誘った後、体育会の応援合戦で踊った各クラスのダンスを披露しました。中3の団長やチア達を巻き込んで楽しい雰囲気を作り上げ、最後は「キセキ」を合唱しました。先輩への感謝と共に、次の最高学年は自分達だという決意を表しました。

3年生は、中学最後の行事です。実行委員会は12月から動き始めました。出し物のテーマは「192人の軌跡〜別れと始まり〜」です。個性豊かな192人が3年間で培ってきたものを出し切り、レベルの高い出し物にすることが実行委員員の目標でした。

本格的な練習が始まったのは学年末テスト後です。それまでの約2ヶ月間、実行委員はアイデアを練り、出し物の内容を綿密に考えました。「192人が一つになる出し物をする」ことも目標の一つでありました。

り、観客の心を揺さぶる演出を練り上げました。放課後の練習や全体練習は、全て実行委員主体で行われ、一人一人の熱気は、本番が迫るにつれて盛り上がりていきました。

本番は全体合唱の「Winding road」から始まりました。アカペラから始まる合唱の背後では、全国大会で福島にいるコーラス部員の動画が流れています。その後は「ハイスクールミュージカル」。映画のエンディングを可能な限り再現しました。吹奏楽の生演奏に、英語でのポークル。チアやバスケの出し物や体育会のマスコット旗など盛りだくさんの内容で会場は盛り上がりです。そして有志のラップとダンス。練習時間は短かったですが、完成度の高い演出に会場の盛り上がりは最高潮になりました。

後半は手紙パフォーマンスから始まります。照明が落とされた中、代表者がそれぞれ感謝を伝えたい人への思いを伝えます。その後、先輩達へ向けた小さなメッセージカードを「ありがとう」の文字に載せて披露しました。次は3団体のアカペラです。背後には中3メンバーがはにかみながら映った動画が流れています。そして192人が一つになった群舞では、手首に白いリボンをつけ、「HERO」の曲に思いを乗せて身体全体で中3の団結力を見せました。最後は「ハナミズキ」の全体合唱です。美術の時間に制作した「ありがとう」の旗を手にそれぞれの大切な人への思いを込めて熱唱しました。

たった30分の舞台でしたが、中学3年間の集大成として、さらに高校へのスタートラインに立つにふさわしい出し物となりました。



無限のおかげさまに感謝

大島末航子

私の金光学園とのご縁は、第3子の長男が中学へ入学した5年半前からです。入学式当日金光様の二つのお言葉を金光校長先生よりお教えいただきました。

一つ目は、学園の合言葉である「人をたいせつに 自分をたいせつに」です。この言葉を聞き、私は、自分自身を大切にしているだろうか？と考えさせられました。自分を大切にできなくては、人も、物も大切にできないということをはんやりと体感していました。同時に、私は息子を真に大切にしているだろうか？と不安にも思いました。真に大切にされた経験があつて初めて人を大切に、そして自身を大切にできるのであると感じていました。その2年後、次女が高校よりお世話になりました。次女の学園生活の中で、この学園の合言葉の重さ大切さを私は体感させていただき、親子共々に成長させていただいたと実感しています。

二つ目は、「ちはははも こどもともにもうまれたり そだたねばならぬ 子もちはははも」。このお言葉は、私の子育てのバイブルとなっています。私は、私らしくゆつくりと3人の子供たちと人生を歩むことに集中できています。家族全員、今朝も目覚めることができ、微力ですが社会のお役に立てるよう邁進しています。

5年半前、小声で挨拶し頼りなかった息子が、野球部での挨拶練習の際には、腹に力が入った逞しい声と最高の笑顔を持ち合わせていました。次女、長男のおかげで私は親として深く学園の伝統に触れる機会を授けてもらい感慨深い日々を送っていることに感謝しています。

(金光学園やつなみ保護者会副会長)

目次

巻頭言	1
金光学園 中学・高等学校 入学式	2
道18)	10
学園生の故郷	12
会報	15
活躍する卒業生	16
やつなみ保護者会のページ	18
会長就任挨拶	20
友愛セールご協力のお願い	21
活躍おめでとう	22
自画像	25
イギリス短期語学研修	26
Patton College 第1回姉妹校交流	28
高1入校時合宿	34
中学生になって	38
新入生歓迎会	40
中1入校時合宿	42
中3沖繩修学旅行	44
中2山の学習	48
探究授業報告	52
やつなみ保護者会地区会	53
高3人権講演	54
ある日のホームルーム	55
オープンスクール	56
法人決算の概要	58
保護者会決算・予算	60
生徒会活動	61
平成29年度大学入試結果	64
学園だより	74
教室の窓から	75
編集後記	78

金光学園 中学・高等学校 入学式

4月8日、入学式が挙行された。中学は午前9時から171名が、高校は午後1時30分から203名(留學生1名含む)が、来賓・保護者・教職員の祝福を受けて新たな出発をした。

校長式辞の後、中学は渡邊和紀君が、高校は宮本将成君がそれぞれ「願いの言葉」を力強く述べた。続いて学校法人理事長の挨拶、来賓を代表して中学は金光教務総長 西川良典氏のご代理 総務部長 三浦義雄氏、高校は金光教務総長 西川良典氏の祝辞があり、次に、保護者を代表して中学は佐藤園子氏、高校は大原恵子氏の挨拶があった。終わりに、中学は生徒会事務局と音楽部による学園歌紹介、高校は学園歌斉唱で式の最後が締めくくられた。

式辞

校長 金光 道晴



ご来賓の皆様には公私ともご多用のところ、金光教関係の皆様には、ご大祭の期間中に、また町内小学校の校長先生方、そしてやつなみ保護者会の皆様には、年度初めの大変お忙しい中を、お練り合わせ、ご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。保護者の皆様には、お子様のご入学、

は、ほとんど開花していない肌寒い中での開催となりました。しかし、今日は駅周辺の桜も、校庭の桜ももう少しで満開を迎えようとしています。まるで、皆さんの入学をお祝いするために、開花を待っていたかのようにあります。



私達教職員や在校生にとっても、フレッシュな新入生を迎えることができ、これから皆さんと一緒に勉強していくことができるとは、大変嬉しいことです。心からの歓迎をしたいと思っております。ところで、先日、金光教のSさんという職員の方から大変嬉しい話を聞かせていただきました。きっと皆さんのお祖母さんだと思いますが、金光教本部に参拝されて、境内で参拝の場所や仕方がよく分らない様子だったので、そのSさんが、ご案内をしたそうであります。

そのお祖母さんは「孫が金光学園に合格したので、お礼とこれからのお願いの参拝に来させてもらいました」と言われ、そして「金光学園に入学する」といい人にならせてもらえるので、大変喜んで「とお話なさった」というのであります。

私は「金光学園に入るといい人になる」という言葉を聞いてとても嬉しかったのですが、皆さんが、多くの人に祈られていられるのだということに改めて感じようなことであります。そして、その願いにそって、これからの学園生活で心身共に大きく成長していただきたいと思います。

誠にありがとうございます。地元の中へ行けばよいところを、私学である本学園の教育を選んで、お子様を入学させていただきましたことは、誠に有り難く嬉しいことでもあります。

金光学園に入学されたということは、本学園とこれから生涯にわたる深く尊いご縁ができたということでもあります。し、お子様がお両親にとって、大切な子供であると同時に、私ども学園にとっても大切な子供となつたわけでもあります。私達もうちの子として6年間大事にお預かりし、保護者の皆様と「あいよかけよ」で手を携え、お子様の健やかな成長を見守り、共に育んでまいりたいと思っております。さて、171名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今年以西日本では、桜の開花が例年より遅く、先週の日曜日の金光町の桜祭で



さて、本校は今から123年前に、金光教を母体に、創立された学校なのですが、今日この後のHRで皆さんには、教祖様のみ教えが書かれているこのような日めくりを入学の記念品としてお渡しします。今日の8日の所には「食物はみな人の命のために天地の神がつくりあたえ給うものぞ」という言葉が書いてあります。これには続きがあって「何を飲むにも食べるにも有り難くいただく心を忘れなよ」という言葉がさらに続き、食前訓とって金光学園では食事の前に唱える言葉でもあります。

そして食事の後は食後訓と言つて「体の丈夫を願え 体をつくれ 何事も体がもととなり」という言葉を唱えます。食事は正に健康な体の源であります。

食事がおいしくいただけることや、水などが飲めることも、決して当たり前のことではなく、感謝の気持ちを忘れてはいけないと教えられています。

昨日の7日の日めくりの言葉は、「木の切り株に腰を下ろして休んでも 立つ時には礼をいう心持ちになれよ」というものです。例えば木の切り株といえども、お世話になったものに対する感謝の気持ちを忘れてはならないということなのです。

私達があたりまえに過ごしている日常生活も、実に多くの恩恵を受け、色々な人や物のお世話になってるのであります。今日のことでも、朝元気で目覚めさせてもらったこと。おいしく朝ごはんをいただいたこと、靴や服や鞆などにもお世話になってお互い今ここにるのであります。

学校に来るにも車や電車のお世話になった人もあるでしょう。そして何より、お父さんお母さんを通して、天地からいただいた健康な命があるからこそ入学ができて、今日の喜びを感じることができるとあります。改めてそのようなことも、心から感謝できる人になっていただきたいと思えます。

明日9日の日めくりは「人の身が大事かわが身が大事か 人もわが身もみな人」という教えであります。

実はこの教えこそが学園の「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」という合言葉の元になっている言葉なのです。学園の合言葉については、すでに何度も見たたり聞いたりしたことがあると思えます。

この言葉は正門の石碑にも大きく刻まれています。

これは何だかわかりますか。後ろの人には見えにくいかもしれませんが、学園の合言葉の額であります。えんじ色のバックに金色の字で「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつ」と



書かれています。ですが、これと同じものが、皆さんがこれから勉強するすべての教室にかかげられています。この言

葉は、生徒も保護者も教職員も、そして卒業生にいたるまで最も大切にしている言葉で校訓と呼び、合言葉と呼びます。

生徒の皆さんにだけ、守ってもらおうというものではありません。生徒も、皆さんのお父さんやお母さんも、私たち教職員も、卒業生も全ての金光学園に関係する人達、つまり仲間が行動の目標や目当てとするもので、みんなで努力しあっているという願いなのであります。

金光学園ではこの「人、自分、そして物をたいせつ」に由来、世の中のお役に立つ人を育てることを願いに、にちにちの教育活動を進めています。

私は、この合言葉こそ、いじめや差別はもとより、民族紛争や、国と国との対立、環境問題など、今日人類が抱えている全ての問題を解決するキーワードだと思っています。

どうぞ新入生の皆さんには、これから六年間かけて合言葉の中身をしっかりと身につけていただきたいと思っております。そして、人・自分・物を大切にできる人、合言葉を実践できる人になっていただきたいと願っております。

勉強はもちろん、生徒会行事、部活動などいろいろな活動に全力を尽くし、心身を鍛え、豊かな人間関係を養い、友達と仲良くして立派な金光学園の生徒として成長していくようお祈りして式辞いたします。

「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」

法人理事長挨拶

佐藤 乃武雄



春雨と共に春爛漫のご時節をお迎えし、桜前線日本列島桜鮮やかに到来し、入学式を祝賀するが如く満開となりました。まもなくにして、新緑の候となり、新しき生命が蘇る絶好のご時節を迎えます。このような麗しきご天地のお恵の中

に、この度、見事に中高一貫教育私立金光学園中学校入学試験に合格されました生徒の皆様方には、誠にめでとうございます。今日まで育てて来られました、各地の小学校の校長先生方、又、保護者の皆様方と共に心よりお慶びを申し上げます。

殊に、ご来賓の皆様方には、常より変わりなき温かきご理解とお支援を賜り誠に有難うございます。

さて、先の四代金光様は「父母も子供と共に生まれたり、育たねばならぬ子も父母も」と仰せになっておられます。

僭越ながら詠わせてもらいます。「父母も子供と共に生まれたり育たねばならぬ子も父母も」と教えられましたが、ただ今からは、親も子も新鮮な気持ちで、中学校1年生として入学したことを、共に喜び合い、助け合い、励まし合う間柄として出発し、中高一貫、学園教育が実りあるものとなり、又、身の上にも、ご家庭の中にも、思わぬ災難事故や、交通事故に遭遇する事のなきよう、平穩無事に、健やかに堅持され、大願とある大学進学の実願が実現されますよう切に御祈念申し上げます。ご来賓の皆様方、ご父

兄の皆さまには益々のご健勝とご繁栄を祈り上げて入学式のご挨拶とさせていただきます。

私達の願い

中学新入生代表 渡邊 和紀

春の暖かい日差しの下、色鮮やかな花が個性豊かに咲き誇る今日、私達新入生17名は、新たな志を胸に、金光学園中学校の入学式を迎えることが出来ました。伝統のある金光学園中学校の生徒として、スタートを切ることが出来たこととても嬉しく、また誇りに思います。

これから始まる勉強や部活動に期待や不安でいっぱいですが、新しい友と協力し合い、一緒に学べる喜びを今後とも忘れる事なく、いっしょけんめい頑張ります。

今日からは、中学生としての自覚を持ち、金光学園の合言葉である「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」をいつも心に留め、自分たちの夢を叶える為に立派な学園生へと成長していきたいと思えます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ

め、多くの先生方、そして先輩の皆様、不慣れな私達ですが、温かい目で見守りご指導してくださいませよう、どうぞよろしくお願い致します。

本日は私達新入生のために、このような素晴らしい入学式を行って頂き、本当にありがとうございます。

中1保護者代表挨拶

佐藤 園子



新入生の保護者を代表いたしましたし、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、あたたかく盛大な入学式を執り行なって頂きましたことに、保護者一同大変感激いたしております。お忙しい中ご出席頂きましたご来賓の皆様をはじめ、理事長先生、校長先生、先生方に、

心からお礼を申し上げます。

新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。今日から6年間、洗練された素敵な制服を着て、勉強、憧れの部活動、楽しいたくさんの方々の行事など、希望に満ち溢れた学園生活を送ることが出来ますね。何年も前から強く願っております合格発表通知の中に、校長先生のお名前を目にしたとき、「よく頑張ったね。待っているよ。」と、子供たちにはほほ笑んでくださったような気がして、嬉しくて涙を流して泣いてしまいました。なぜなら私は、金光校長先生に、高校の時に担任をして頂いたからです。佐藤副校長先生は、ブラスバンド部で有名な顧問の先生でいらっしやいましたし、山本教頭先生、高校の横山教頭先生にも担任をして頂いたことがあります。学園がどんなに伸び伸びとした自由で素晴らしい学校だったかと、当時の記憶がよみがえってきました。

卒業してからは、出身校を聞かれたときに、「金光学園なの？ すごい！ 卒業生はいい人が多いし、素晴らしい学校ですよ！ 学園は卒業後もずっと仲良く交流があつてうらやましい！」と、必

の人たちが新米社長である自分を支えて下さったのです。「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」この学園の合言葉の精神を、普段から息をするように自然に表しておりますと、困難な事があつても、不思議と必要な時に必



要な人がすつと現れ助けて下さったり、良い方向へ道が開けたりなど、奇跡のようなものをたくさん経験してきました。この精神を実践するならば、周りの人にとつても、自分の人生にとつても、素晴らしい結果になると身に染みて実感する日が来ると思います。

もう一つは、金光学園で国際感覚を身に付けることができることです。私は、仕事で突然フィリピンに行くことになりました。当時のメディアでは、「その国は麻薬、強盗、銃社会で、新大統領は過激発言する恐ろしい人」と連日報道されていました。恐怖におののきながら行きましたが、現地のフィリピン人は「新大統領は国民から人気が非常に高く、今は平和になって喜んでる」と通訳を通して教えてくれました。街を歩いてその言葉が現実だとわかりました。世界に目を向けると、日本で常識だと思っていたことが、実は世界の非常識であることが多いことに気付きます。自分で外国語が話せていろんな人と仲良くなるのができれば、国際感覚が身についたら、どんなに楽しく有益なことでしょう。間違った情報をうのみにしてチャンスを失った

ずいろんな人に褒められるのです。優秀で徳のある経営者や人財をたくさん世に送り出してきたこと、重厚感のある伝統を、年数が経てば経つほど耳にして、私は、こんなすごい学校に入学させて頂き、学ばせて頂いたのだと、じわじわと素晴らしい事を思い知らされていたのです。

今ここに座っておられる皆さんは、本当に幸運です。たくさん理由はありますが、私の経験談から、その内の2つをお話したいと思います。

一つは金光学園の合言葉の精神を、学園生活を通してしっかり身に付けることができることです。私は、主人と小さな3つの法人を経営しています。8年前、会社勤めの主人の代わりに、突然私が会社の代表をしなくてはいけなくなりました。最初何もわからず大変でしたが、私にできることは、出会った全ての人を敬い、頭を下げ、ご指導いただき、心を込めて大切にしていこうだけだと思ひ、貫きました。すると、銀行の方々や、たくさんの経営者、仕事に関わっている人達が、一生懸命協力して下さったり、いろんな情報を教えて下さったり、時にはピンチを助けて下さったりと、たくさん

り、詐欺に合つて失敗したりすることも少なくなりませう。

金光学園では、2014年から、スーパーグローバルハイスクールアソシエイトに指定され、国際人として世界で活躍できるような育成環境を整えて下さっています。学園に通いながら、いろんな国の人と楽しい交流をして、時には助け合い、友達になれば、世界が広がります。もし、突然海外へ出ないといけなくなつたとしても、海外のお友達がいるなことを親身になって、きつと助けになつてくれることでしょう。私たちの学生時代にはこの環境はまだありませんでした。今の環境は全てが当たり前のことではありません。これは先生方や卒業生たちの大変な努力の賜物です。皆さんがとてもうらやましいです。

これからの6年間は、体力気力にあふれ、勉強もスポーツも国際感覚を身に付けることも、全部を全力で頑張ることができる時期です。そして、なんでも吸収できる貴重な時期でもあります。言葉では表せないような、人として一番大切なことをしっかりと教えてくれる金光学園を選び、入学できた皆さんは、とても幸

運だと思われませんか？

厳しい荒波の世の中でもしつかりと活躍できる人を育てるよう、力強く学校運営の舵取りをして下さっている校長先生、副校長先生、教頭先生を始め、子供たちを現場でしつかりと導いてくださる先生方、子供たちはまだまだ未熟で手をかけてしまおうと思いますが、17名の可愛い子供達を、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、金光学園の益々のご発展と、ここにお集まりの皆様のご健勝をお祈りいたしまして、保護者代表の挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

願いの言葉

高校新入生代表 宮本 将成

春風に桜が舞い、春の訪れを感じるこの良き日、私達新入生202名と、留学生1名、合わせて203名は、晴れて金光学園高等学校の入学式を迎えられることに、心

から感謝いたします。

私は3年前に、スーパーサイエンスハイスクールの取組みに参加し、全国大会に出場経験のある野球部で学びたくて、金光学園中学校を受験しました。そして、中学校生活3年間で、大阪大学、京都大学への訪問など、貴重な体験をさせて頂き、高校、ひいては大学進学への意欲が高まりました。

更に、体育祭やほつま祭などの行事を通して、「仲間の大切さ」「自ら考えて行動すること」も学びました。最後まで諦めずに困難を乗り越えられたのも仲間が声をかけてくれたからでした。また、海外留学なども学園に入学したからこそ体験できたことだと感謝しております。

本日、あらたに高校から入学する18名を迎えました。

私達は今、大変恵まれた中で生きています。ここで一日一日を無駄にせず、人として成長すると同時に、将来の夢を見つけ、「なりたい自分」に向かって日々精進していきたいと思っています。

最後になりましたが、本日は私達新入生のためにこのような盛大な入学式を挙行していただき有難うございます。校長

子どもたちは、ご縁をいただいてこの金光学園高等学校に入学することができました。金光学園には素晴らしい合言葉「人をたいせつに」があります。この言葉には両親をはじめ、家族、先生、友達等自分に関わって下さっている全ての人に感謝すること、自分を見つめ自分を磨き自分らしく輝くこと、教室や校庭、学習用具等身の回りの物を大事に扱うことを意味していると思います。感謝の気持ちを日々持つことよって、心が豊かになり、笑顔になるのではと思っております。この合言葉は高校生、大学生、社会人になっても人として生きていくうえで、とても大切な言葉だと思えます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとう、ございます。義務教育であった中学生から高校生になった皆さんは、自分の意志で自由な行動が出来るようになったと同時に、その行動に対して厳しい責任が伴います。このことは親から自立して社会で生きていく準備でもあります。また、高校生活では、様々な出会いと経験を通して自分はどういう人になりたいのか考え、模索することができます。その過程

では、迷い悩む日々もあると思います。その時には先生方・家族・友達に支えてもらいながら自分を見つめ、磨き、心を強くすることで必ず答えを出せる時が来ます。何事も納得するまで考えて出した結論は、人生において後悔のない選択になると思います。安心して前を向いて一生懸命進んでください。友達同士話しているうちに「親友」と呼べる生涯の友もできるかと思えます。

私達保護者は金光様の教えにありますように「ちちははも こともともにもうまれたり そだたねばならぬ 子どもちははも」の精神であらゆることに感謝し、子どもたちと一緒に成長していきたいを願っております。子どもたちが充実した学校生活を送ることが出来るよう日々愛情を注ぎ、信じ、見守って参りたいと思っております。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、諸先生方、これからの3年間、親子共々ご指導を賜り、お育てをいただきますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。簡単ではございますが、これで挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

先生をはじめ諸先生方、そして両親には、これからも厳しく、そして温かく、私達をご指導下さいますようお願い申し上げます。願いの言葉とさせていただきます。

高1保護者代表挨拶

大原 恵子



新入生の保護者を代表しまして、高いところからではありますが、ご挨拶させていただきます。

本日は、子どもたちのために、このような盛大な入学式を催していただき誠にありがとうございました。

先程は校長先生、理事長先生をはじめ、ご来賓の先生には温かなお祝いのお言葉を頂き、子どもたちと共に、保護者一同心より御礼申し上げます。



「嬉しかった3通の手紙」

最近、新聞やテレビで報道されるニュースは「なぜこんなことが起こるのか？」と耳を疑うような、目を覆いたくなるようなことばかりであります。繰り返されるテロ事件や度重なるミサイルの発射実験をはじめ、国内でも日々犯罪報道が流され、政治問題や経済問題も山積しています。教育現場においても、いじめや青少年犯罪などの心痛む報道も後を絶ちません。そんな中で、良き出来事や明るい話題や嬉しい知らせに出会うとホッと、気持ちも明るくなります。そんな時「よきこと」の話題にのぼるをさきおれば、世にあかるさの加はるごとし」という金光教の前教主で卒業生でもある金光鑑太郎様の詠まれたお歌が思い出されます。

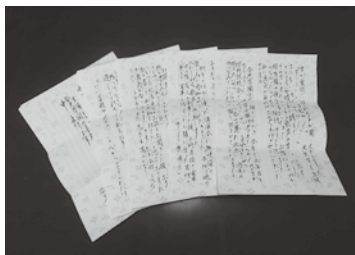
さて、7月に入り、もうすぐ夏休みを迎えようとしています。ですが、この1学期にも心配されることや不安になるようなことは決して少なくありませんでしたが、反対に嬉しいことも沢山ありました。私達教師にとっていちばん嬉しい時というのは何と言っても、生徒が勉強や部活動や学校行事などで頑張ったり、その成長したことを喜び合えたりする時であります。そのことはそのまま保護者の方々や同窓生の喜びにも繋がります、さらにその喜びはまた私達の大きな喜びとなり力となっていきます。

今回は5月のゴールデンウィーク前後に私の所に3通の嬉

しい手紙が届き、元気を頂いたのでありますが、その嬉しかった手紙のことを書かせていただきます。

最初に本校の生徒の知り合いのTさんという方からの手紙であります。「……貴校の発展や試みを耳にする度に、存在感が光る学校運営に、心より拍手を送っております。……進学指導や伝統ある部活動に加えて、いじめ対策を大切になされていることにも感銘を受けております……」というように全文にわたって学園を絶賛して下さっている内容であります。しかし、この方から2年前にいただいた手紙は全く違うものでした。宛名書きには「校長・いじめ担当指導者 殿」と書いてあり、便箋数枚に書かれた内容は極めて厳しいものであります。かつて激しく手紙や電話で非難されていた方が、今は大の学園ファンになって、折に触れて心のこもった応援のお手紙をいただいています。当時一緒に心を痛めながら対応した先生方と、共に心から喜ばせていただいたようなことであります。

2つ目はある保護者の方からの次のような手紙です。「……4月29日のやつなみ保護者会の総会の日にとっても嬉しいことがあったので、手紙を書かせていただきました。例年とは少し違った講演会（弓削田健介さんのコンサート）に興味深く楽しみに参加させていただきましたが、予想通り心にしみる歌声に



ある保護者からの手紙

感動しました。その後、駅で帰りの電車を待っていたら、隣に座った男性の電話をしている声が聞こえてきました。『すごい、いい学校やったあ……先生方も生徒さんもいい方ばかりやったあ……』ととても安堵された様子で話されています。ハッと改めてその方を見たら、さっきのコンサートの歌声の方（弓削田さん）でした。……高3になった我が子の中学進学を考えていた時、正直当初学園への入学については、あまり考えていなかったのですが、学校説明会で『合言葉』に出会い、過去の『やつなみ』をいただいて帰りに読ませていただきました。そのことが学園とご縁をいただくきっかけでした。『いい学校やったあ……』と心から言っていただけのような学校に我が子を通して頂いていることを誇りに思います……』というような内容で、便箋5枚に筆で、丁寧に書いて送っていただいた手紙であります。すぐにお礼の電話を掛けさせていただき、御礼と感謝の気持ちを申し上げたのですが、私にとっては大変嬉しく、教職員にも保護者会のお話などでも紹介させていただいたようなことであります。

3通目の手紙は2年前、卒業して大学生活をスタートして間もない時交通事故にあって、今なお懸命にリハビリを頑張っている卒業生のHさんとそのお母さんからの手紙です。事故当初は命も危ぶまれる中で、意識ももどらない状態が続いていました。ようやく3ヶ月後に意識がもどったものの、その後もずっと入院生活を続けていました。これまで時々病院にお見舞いに行かせていただいていたが、このお正月には学園の正門の所で写した写真の年賀状を頂き、びっくりしました。「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をた

いせつに」の石碑の前で車椅子に乗って、妹さんや弟さんと一緒に写っているのです。「えーっ、入院しているはずなのに……」外出して学園までわざわざ来て写真も撮り、その写真を年賀状にしているのです。私はびっくりすると同時に大変嬉しく思いました。そしてこの度の手紙は、この春で長い入院生活を終え、やっと自宅に帰れることになったというもので、これからは、在宅と通所を組み合わせたりハビリ生活をスタートさせることになったということが書いてあります。手紙の最後に、動きにくい自分の手で丁寧に、それも綺麗な字で、「本当にありがとございました」と書いてくれました。やっと家に帰れたということと、字がきちんと書けるようになったことを知り、涙があふれてきました。2年近くの入院生活とリハビリで、遅々たるものであっても確実に着実に快復してきていることは間違いありません。「なんとか自宅での生活を軌道に乗せ、次のステップに進みたいと考えています」と書いてありました。御礼の電話や手紙を出すと、もう少し良くなったら学園にも遊びに行きたいと言っているとのこと。まだまだこれからのなお大変な中でですが、元気をいただく本当に嬉しい手紙でした。

この原稿を書いていると校長室の窓の外から、ソフトテニスの「ボン・ボン」とラケットでボールを打つ音や、グラウンドから聞こえてくる野球部の夏の大会のための応援練習の大きな声と共に、4階の中学の音楽教室からはコーラス部のサマーコンサートにむけての美しい歌声が聞こえてきます。嬉しい爽やかな音や声を聞きながら、この原稿を書かせてもらったようなことであります。

ここから通っています 学園生の故郷

真庭市

真庭市は平成17年に五町四村の合併によってできた自治体です。岡山県北部で中国山地のほぼ中央に位置しており、北は鳥取県に接し、東西に約30キロ、南北に約50キロ、総面積は約828平方キロで、岡山県の約11・6%を占める県下で最も大きな自治体で、気候は年間を通じて比較的穏やかで台風や地震などによる災害も総じて少ない地域です。市の北部には標高500メートルから600メートル程度の高原地で、西日本を代表するリゾート地の1つである蒜山高原があり、週末やシーズンは京阪神や中四国地方からの観光客で賑わっています。その南には、美作三湯の1つである湯原温泉があります。播磨の名刹、書写山圓教寺の名僧、性空上人が重病で倒れ、その時、夢枕に天童が現れて、この湯を暗示したといわれています。性空はその地に赴き、平癒。それ以後、薬湯として広く知られるように

なりました。また、豊臣政権の五大老の1人である宇喜多秀家の母堂が病を癒したといわれ、その御礼に秀家が浴室を修繕したという逸話もあります。しかし地元歴史研究家によれば、それより以前、周辺で、たたら製鉄が盛んになり始めた弥生の中期頃からそこで働く物達の湯治に使われていたという話があり、実際、湯街の河原は、地熱が高く風呂ばかりでなく冬季には小屋を作りここで冬の寒さを凌いだことが容易に想像でき、その様な状況から有史以前より自然に湯場として利用されてきたと思われます。さらに南に下ると勝山町並み保存地区があります。古くは出雲街道の要衝として繁栄。土蔵はもちろん、白壁や格子窓の古い町並みが残ることから、昭和60年に岡山県発となる「町並み保存地区」に指定。ノスタルジックな建物に加え、古民家、蔵などを活用した工房、カフェギャラリーなども軒を連ね、歩くだけでも楽しい趣ながらも出し続けています。古きよき伝統を残しながらも、今の時代の新しいセンスも巧み取り入れる地域づくりは全国でもモデルケースとして注目を集め、観光客だけでなく、視察として訪れるグループも多くあります。文化の香りを伝えるとともに、各軒

先をかざる暖簾の風景がこの町の一体感、そして人の温もりをしっかりと表現してくれています。また真庭市は、中南部を中心に農林業が盛んで、とりわけ良質なスギ・ヒノキを産出する林業は、古くからこの地域の雇用を支えてきました。現在でも多くの伐採事業者や木材加工会社、市場などが操業しており、真庭市の象徴である木質バイオマス産業の中心地になっています。また、清流・旭川の恵みを受け、稲作や果樹栽培などの農業も盛んです。真庭市とひとくくりにしてしまうと広範囲ですが、我が家は合併前の落合町にあります。山林と田畑に囲まれたのかな所でこれといったものもないのですが、県下一の巨木と伝えられる醍醐桜があります、日本名木百選にも選ばれると同時に、昭和47年12月には岡山県の天然記念物に指定されています。目通り7・1m、根本周囲9・2m、枝張り東西南北20m、樹高18m、種類はアズマヒガン(ヒガンザクラの一種)で、伝説によれば、元弘2年(1332年)後醍醐天皇が隠岐配流の際、この桜を見て賞賛したといわれ、この名がつけられました。樹齢は700年とも、また地元の説では1000年ともいわれています。大河ドラマ「武蔵MUSASHI」では岡山県内最初のロケ地として注

目を集めました。

そんな我が家から金光学園までは車で約90キロ、1時間30分程度かかります。自宅から通学することは交通の便から言っても無理で寮でお世話になっています。ではなぜ息子が貴校への進学を決めたかということ、小学校から始めた、バレーボールが縁となっています。小学校の時から中学校にかけて県内で試合をする機会があり、その

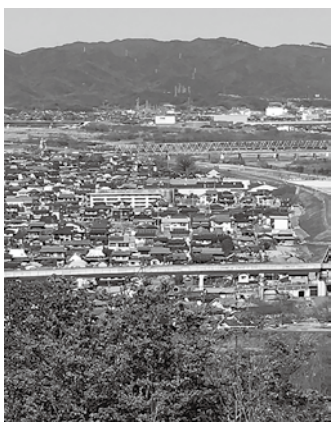
際に現在のチームメイトと同じチームで試合することもありました。中学では別の学校だったのですが、高校では同じチームでやってみたいということ、また部活動だけでなく勉強もやりたいということなどで本人が決断いたしました。入学する以前に練習で来校する機会もありましたが、現在の顧問の先生が、姉の指導者だったこともあり、保護者としても安心して預けられると考えたからでもあります。現在入学して2カ月が経ちましたが、学校の雰囲気も良く本人も学校に行くのも楽しいと、話しています。最後になりましたが、子供、保護者共々、このご縁を大切に実りある高校生活にしていければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

高1の父 渡邊 元繁

倉敷市真備町

長男の担任の小畑先生から真備町の紹介を依頼された時には、一瞬戸惑いましたが、子供たちも頑張っていることだしやってみようと思ひ筆を執りました。

倉敷市真備町は、平成の大合併によりお隣の船穂町と共に倉敷市と合併した町です。倉敷市とは平成17年8月に合併して



おり市に移行してから約10年程度となります。倉敷市の北西部に位置し、倉敷市の中心部、水島工業地帯のベッドタウンとして発展してきました。町内には6つの小学校と2つの中学校があります。町の東部には高梁川が流れ、また、東西に流れる小田川を有し水が豊かで今も多くの田園風景が残っています。町の周辺には数多くの弥生時代の遺跡が確認されており、古くから稲作が盛んだったことが分かっています。また、古代は豪族・下道氏の支配する地域であり、この下道氏より奈良時代に遣唐使となり帰国後に右大臣まで昇進した吉備真備が誕生した地といわれています。

江戸時代には伊東長実が領主となり、以降代々岡田藩伊東氏の領地として栄え、



1871年（明治4年）、廃藩置県により、岡田藩は岡田県になり、さらに備中地方の各県が統一され真備町は深津県（のち小田県に改称）内の下道郡に属する十余の各村となりました。その後、昭和27年に大備村、蘭村、二万村、箭田町、呉妹村が合併し真備町が誕生しました。倉敷市と合併する以前は、吉備郡真備町と言う名前であり、これは吉備真備公の名が町名の由来となつて



います。町内には、豪族支配の象徴である古墳や吉備真備公ゆかりの地、史跡等が点在しています。

また、名探偵金田一耕助シリーズを執筆した横溝正史が太平洋戦争中に疎開していた地でもあり、「本陣殺人事件」の舞台となった場所が真備町の東部にあり、ちよつとした散策コースになっています。その他にも「八つ墓村」、「獄門



島」、「空蟬処女」のモデルとなった場所があり、横溝正史ファンにとっては有名な地でもあります。

「竹」も特産のひとつで、春はたけのこが美味しく、竹を使った工芸品も数多くあります。秋には岡山県内の三大巨石墳である箭田大塚古墳を舞台に竹林の中で音楽イベント「竹林祭」が開催されるなどいろいろなイベントも行われています。

倉敷市の美観地区の様に全国的に知名度が高いわけではありませんが、古代からの歴史と近代の文化が融和する良い町だと思つています。

今回、紹介の依頼を受けて、改めて町内のあちこちを巡り、幼稚園、小学校時代に遠足で訪れた場所、新しくできた施設等を見て回り、38年間住み続けた土地でも意外と知らないことが多いことに気付かされ、町の良さを知ることができました。拙い紹介ではありますが一度真備町を訪れてもらうきっかけになれば幸いです。

最後になりましたが、子供たちが金光学園に入ったのも私たちの住む町の紹介をさせてもらったのも何かの縁であり、これから中高6年間親子共々いろいろとお世話になります。よろしくお願いします。

中1双子の父 長尾 貴幸

会報

総会 4月29日（土）1限目、授業参観、2限目、学級会、3・4限目、ほつま体育館において、29年度総会と記念講演会が行われた。総会では、各部からの会務報告の後、28年度会計決算報告がされた。その後、役員改選が行われ、新三役が選任された。（※下表参照）

総会後の記念講演では、講師に弓削田健介先生（放浪の合唱作曲家）が「いのちと夢のコンサート」の演題で、既成の曲のみならず、弓削田さんオリジナルの曲の弾き語りを交え、彼の様々な経験から、人の命の大切さや前向きに生きる大切さを楽しく、そして、感動的にお話をしてくださった。多くの方が涙しながら聞き入った。また、音楽部コーラスが合唱で参加した。

第1回全役員会・評議員会 5月16日（火）役員会開催に先立って食堂の試食会を開き、多くの方が参加され、概ね好

評であった。全役員会では、全役員と評議員の任務内容の確認、年間予定等について説明があった。

評議員会では、各専門部役員の見定後、各部長・副部長が選任された。（※左表参照）その後、29年度活動方針、予算案について検討し承認された。

第2回評議員会 6月5日（月）研修会等の出席者確認、地区会、友愛セーブル、オープンスクールの協力、各専門部の活動内容の検討等について協議した。

各部 部長・副部長			新三役			
	指導部	教養部	庶務部	監事	副会長	会長
部長	窪田みずえ	稲川律子	加藤妃登美	定平真紀子	遠藤かおり 大島未航子	平松晃弘
副部長	児玉益子	田所洋子	小野貴子 山木陽子	佐藤桂子	難波福男 横藤田晋	

諸会合

- 5月13日 浅口里庄P連総会 里庄福祉会館（大島副会長、佐藤副校長）
- 5月31日 備西地区高P連春季総会 金光学園内（平松会長、金光校長、佐藤事務局長）
- 6月1日 県青少年育成県民会議総会 天神山プラザ（佐藤副校長）
- 6月5日 県中高保護者会連合会会長会議メルバルク（金光校長）
- 6月9日 玉島警察署管内子どもを守る母の会総会 玉島警察署 難波評議員
- 6月9日 幼小中指導者人権教育研修会 浅口ふれあい交流館サンパレア（指導部 坂口・山本・湯浅・真田評議員）
- 6月21日 県広域特別補導協議会笠岡支部総会 笠岡市役所（難波副会長、佐藤副校長）
- 6月22日 浅口里庄P連母親委員会第1回研修会 アカセ木工（遠藤副会長、佐藤監事）
- 6月23日 県高P連&安全互助会総会 ピュアリティまきび（平松会長、金光校長）
- 7月11日 幼小中指導者研修会 ライフパーク倉敷（教養部 稲川・田所評議員）
- 7月14日 中四国高P連山口大会 下関海峡メッセ（平松会長、遠藤・大島・難波・横藤副会長、定平・佐藤監事、佐藤副校長）

公認会計士という仕事、 信頼される専門家を目指して

原田 浩光（高48回）



私が公認会計士という職業に興味を持ったのは、将来の進路を考え始めた時でした。様々な業種業態の企業についてその違いや将来性などを調べてみたのですが、結局のところ詳しい事はわかりません。公認会計士は、企業が発表する決算書を監査するのが仕事なのだから、公認会計士になればいいんじゃないかなという実感がわくようになるのだった。思ったのがきっかけでした。

やっとのことで資格試験に合格し、大手監査法人に就職するのですが、予想以上に地道な作業が長時間休みなく続きます。ただワークスタイルは非常に特徴的で、クライアント毎に監査チーム編成が異なり、2週間単位くらいで新しいチームを組み、違うクライアントに行ってしまうので仕事は飽きやすい私に合っていました。

決算書の監査と言っても一人で全ての数

字をチェックするわけではありません。最初は単純な会計項目を担当し、経験の蓄積と共により広範囲に、より恣意的な判断が伴う会計項目を担当するようになります。対応してくれるクライアントの担当者も、最初は経理部の課長さんだったのが、経理部長、営業部長、役員、社長というようにすぐにインタビュ対象者の役職が上がっていきます。父親と同年代くらいの社長に對してインタビュするわけですから緊張しますし、最初はお叱りを受けることもよくありました。しかし、クライアントのビジネスに対する理解を深め、しっかりと分析した根拠数字をもって説得力がある意見を述べ、アドバイスをする事が出来たときは、どんな相手でも耳を傾けてくれましたし、やりがいを感じる事が出来ました。

決算書は企業の健康診断書と同じです。毎年の数値変化を様々な角度から分析することで、その企業が抱える数多くの病気(課題)が見えてきます。公認会計士は、決算期末だけでなく四半期レビュや内部統制監査等で年中クライアントにいるため、企業にとって非常に身近な専門家と言えます。常日頃から会計と税務の問題だけでなく、労務、法務、システム変更、組織再編、業務効率改善や制度設計等、ありとあ

金光学園を卒業したのが21年前、もう40の節目を迎える年になったとは時間の早さを感じずにはいられません。学園は中高一貫して自由で多様性を受け入れた風土だった印象が強く残っています。今でも変わらず昔話が出来た友人がいたり、仕事上で学園の先輩と縁があったり、何より妻も学園の同級生であったりと、私にとって学園生活は人生の大きな礎となっています。

あらゆる相談を受けますので、まるで総合診断医のようです。そのため多種多様な多くの企業を見てきた経験をもとにした最善のアドバイスが期待されているのですが、実際には、唯一最善の解決策があるようなケースは少ないです。時には厳しい意見を言ったり説得しなければならぬ場合もあります。厳しい意見をおつづけた時ほど自分がクライアントからの程度信頼されているかが良くわかります。それは、素直に言うことを聞いてくれるかどうかではありません。しっかりと前向きに話を受け止めて聞いてくれる態度であったり、本音で話してくれたり、どこからともなく味方になってくれる人が出てきて後押ししてくれたり、普段とだけクライアントに寄り添ってきたかによって反応の違いは顕著に表れます。信頼される専門家、これは一朝一夕ではなく積み重ねによってのみ得られる称号だと思っています。最近は大企業と大手監査法人の意見対立といったネガティブなニュースも耳にしますが、信頼関係を築くことは簡単な事ではないということです。

さて話は変わりますが、私は3年前から台湾に駐在しています。台湾は親日的で日本文化も浸透しており、私よりも日本の事に詳しい台湾人も多くてびっくりします。

日本の外食企業も数多く進出しており、日本にいる時よりも日本全国各地の特産品を口にすることが出来ます。台湾で生活する日本人も多く、日本人学校もありまして。ただ、日本語が上手な人もいますが、やはりローカルスタッフとは中国語でのコミュニケーションシオンとなるため毎日のレッスンは欠かせません。

私の台湾での任務は日系企業の支援、経営者に対する相談対応を行う事ですが、台湾における経営環境は日本よりもはるかにスピード感があります。また、文化や習慣の違いは、たとえ言葉が通じていても理解できないという事態を生みます。そのような時に間に入って解決するには、やはり信頼関係がものを言います。

中高生の多感な時期に、「人を大切に」という相手を尊重する大切さを教わり、また自由で多様性を受け入れる雰囲気の中で過ごしたことは、年を経て海外にいても、人と人の信頼を基礎とする公認会計士という今の仕事において大いにプラスの影響を与えてくれています。

多くの仕事に近い将来人口知能(AI)に取って代わられると言われている中、公

認会計士の仕事である監査業務もまさにAIによるアプローチの実用が進んできています。効率化自体は進むべきですし止められない流れだと思っています。しかし、台湾での仕事の経験を経て、長い年月をかけてそれぞれの国で培われた歴史や文化的背景を基礎として育まれる国際交流や、そこから生まれる信頼関係は、AIに代わられるものではないと確信出来ます。また、AIによってどんなにデータ解析技術が進んだとしても、企業経営においてはデータに表れない経営者のみがあるところにも本質があり、信頼される専門家になれて初めて経営者とその本質の議論が出来ます。信頼される専門家を目指すこと、それは自分が付加価値ある仕事をし続けるために必須であると胸に留めてこれからも精進していきたいと思っています。

略歴

- H12年3月 早稲田大学政治経済学部 卒業
- H14年10月 公認会計士2次試験合格
- H14年10月 監査法人トーマツ入社
- H18年4月 公認会計士3次試験合格
- H26年7月 Deloitte台湾台北事務所 赴任

やつなみ保護者会のページ

今回は、教養部・指導部・庶務部の代表の方に、それぞれの部の活動内容を紹介していただきました。

指導部

部長 窪田みずえ

指導部は、今年度8名の部員で活動します。主な活動は、やつなみ保護者地区会の開催をすすめ、学校外での生徒の輔導や指導を担当の先生と行うことです。

地区会は、1学期の行事も一段落する7月中の開催を設定しています。新しい環境の中で生じた悩み事や心配事・疑問などについて同じ地区の保護者同士、学年を超えて情報交流ができる場となっております。担当の先生方に学校での子供達の様子を聞いたり、相談に乗っていただいたり、学校への要望をお願いしたりします。意見を聞くことができる貴重な会ですので多くの方のご出席をお願いいたします。

たします。

学校外における生徒の指導として、下校時の列車の乗車マナーの指導、金光駅周辺・他の街頭での指導・輔導に指導部一人一人参加し協力していきます。1年間、宜しくお願いいたします。

教養部

部長 稲川 律子

教養部は今年、昨年の9名から半数以下の4名で活動を行ってまいります。

主な活動内容としては、年3回発行される「やつなみ」の保護者ページの作成・研修旅行の企画・各研修会への参加を予定しています。

「やつなみ」では保護者の皆様が子供

たちの日常の学園生活を知ることができ、また輝かしい子供たちの活躍を知ることができます。年3回の発行を楽しみにしてください。様々な行事について原稿を依頼することもありますが、その時はよろしくお願いいたします。保護者の皆様にも少しでも「やつなみ」に関わっていただく機会になればうれしく思います。

また、秋に行われる研修旅行についても企画を立案中です。「研修旅行……どこがいいかな?」「関西……?」「四国……?」4名でいろいろなプランを出しながら、参加される皆様を楽しめる旅行を企画検討中です。

私自身、初めてのやつなみ保護者会の活動で、部長という大役を任せられ、自分ですが、皆様に助けていただきながら1年間、活動していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

庶務部

部長 加藤妃登美

庶務部は、33名(うち2名本部役員)で構成されています。主な活動内容は、ほつまつ祭での友愛セール開催と、それに向けての準備です。9月2日までは、ほつまつ祭の第2日目(9月10日)に開催する「友愛セール」で販売する「金光ペア」とその他の手作り品の作製を行います。この手作り品の作製の為に13回の手作り会を開催し、庶務部員を中心に保護者のご協力を得ながら和気藹々と作製します。そして、この手作り会の様子を、学校のホームページ上のブログ「2017やつなみ保護者会手作り会」に庶務部員の担当で掲載し、随時更新しています。
(<http://2017ptayedukurisblo.jp/>)

また、手作り会に併せて、「ポーラセーター」「ステンドグラス」「ベネチアンアクセサリー」「カルトナージュ」の講習会も開催。友愛セール前日の会場の準備と当日の販売は、全役員協力を得て行われ、今年度の友愛セール終了後は、来年度の友愛セールに向けての準備をします。

メタセコイアの会
保護者会友愛セール
28年度高校卒業生
など

寄附により実現しました。

ICT機器、アクティブラーニング室等が充実



3月末から4月にかけて、高校1・2年の全教室にプロジェクターが設置された。また、特別教室棟4階にアクティブラーニング用の机と椅子40組と自習室用の机と椅子25組が設置され、学習環境の更なる整備が進められた。

金光学園やつなみ保護者会 会長就任挨拶



金光学園やつなみ保護者会
会長 平松 晃弘

昨年に引き続き、平成29年度金光学園やつなみ保護者会会長を仰せつかりました平松です。保護者の皆様には日頃より多大なるご協力な
らびに深いご理解をいただきまして、心より御礼申しあげます。

昨年度は私にとりまして初めての就役ということで、戸惑うことも
多々ありましたが、周りの方々に支えて頂き、1年間どうにか無事に
務めることができました。2年目である今年度では、従来の慣例に縛
られることなく、良いところは高め、改善できる点は積極的に対応し、
保護者の皆様の負担を少しでも軽減できるよう役員一丸となって知恵
を絞っていきたいと思っております。

現代の中高生を取り巻く環境は、ネットやスマホの発達により、我々
の時代とは大きく様変わりしています。スマホが常に手元にないと不
安を感じる、スマホ依存症のようなお子さんも多いのではないでしょ
うか。大袈裟に言えば、全ての事が親の目の届かない小さな画面の中
で完結してしまう可能性もあります。

このようなネット社会で子ども達が身につけるべき力が大まかに分
けて3点あると思います。
最初に、相手を思いやる力。相手にも生活や大切な時間があり、そ
のことを尊重できること。相手が傷つくような情報は発信しない配慮
ができること。

次に、自分自身の時間の貴重さを知る力。現在の自分と将来の自分
のために、大切に上手に時間を使えるよう物事に優先順位をつけられ
ること。

そして最後に、ネット上の情報と上手く付き合う力。その確かさや
正しさを判断し、ネットを使いこなすスキルは不可欠だからこそ、現

実世界でしか得られない物や経験の貴重さも知ること。
以上のように3点挙げている最中、あることに気づきました。まさ
に金光学園の合言葉、「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をた
いせつに」が唱えている精神そのものだなあ、と。

120年の伝統を持つこの学園で、諸先輩方より代々受け継がれている
のですから、とても古くからの言葉です。それにも関わらず少しも色
褪せることなく現代の社会にも根付く、とても大切な言葉、そして理
念であると再認識しました。

この合言葉のもと、日々学園生活を送る子どもたちは、他人をいた
わることのできる優しく素晴らしい人間へと成長し、明るい未来を歩
んでくれることと信じています。

金光学園では勉学はもちろんのこと、年間を通じて様々な行事・活
動にも力を入れています。これは金光学園の最大の特徴であり、これ
らを通して生徒の個性、資質がより豊かに引き出され将来へと繋が
ります。そのため、保護者の皆様には何かとお手伝い等のご協力をお願
いする場面も多いかと思われま。何とぞ、積極的なご参加をよろし
くお願い致します。

至らぬ点も多いと思いますが、これからの1年間精一杯がんばりま
すので、何とぞご支援、そしてご協力をよろしくお願い致します。

「友愛セール」ご協力をお願い!

9月10日(日)開催

拝啓 保護者の皆様方におかれましては、日頃よりやつなみ保護者会の活動
にご理解また多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年もやつなみ保護者会主催の「友愛セール」をほつま祭2日目の
9月10日(日)に開催させていただくこととなりました。今年も多くの保護
者の皆様のご協力のもと、作製していただいた「金光ヘアちゃん」をはじめ
とする心こもった手作り作品が多数出品されます。そしてご家庭からご提
供いただいた貴重な品々、また同窓生の企業様、近隣の企業様からご協賛い
ただいたさまざまな品々を販売させていただく予定です。ぜひともたくさん
お買い上げいただきますようよろしくお願い申し上げます。

この「友愛セール」で得られました収益金は、子供たちがよりよい環境で学
ぶための資金として活用させていただいております。昨年はこの資金で高校
一年生、二年生の各教室にプロジェクターを設置させていただきました。ま
たこれらのほつま祭へ向けての手作りの作製や講習会などは、保護者同士
の絆を深める貴重な時間となっています。保護者の皆様が、子供たちのため
に一生懸命働く姿を見せることも非常に大切な教育の一環になり、実に意義
深いものです。

ぜひともこの友愛セールの趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方のご
参加、ご協力をお願い申し上げます。

敬 具

金光学園やつなみ保護者会 会長 平松晃弘

活躍おめでとう

少林寺拳法部 第20回全国高校少林寺
拳法選抜大会（男子規定単独演武の部
全国3位入賞）
可能性

高2 谷 聡市朗



私は3月に香川県で行われた全国選抜少林寺拳法大会に出場しました。私はこの大会を通して、自分自身の可能性について強く感じることがありました。

私はこの大会に向けて2カ月ほど前から本格的に練習を始めました。顧問の安田先生を中心に様々な先生方から指導を

受けました。この大会での目標は決勝進出でした。

全国での自分の立ち位置がわからず、とても不安でした。（探究クラスなので）7限まで授業があり練習時間も短くなるので、私はそれをイメージトレーニングでカバーしようと考えました。

その甲斐もあってか、3位入賞することができました。思っていたよりも高い順位となり、驚きました。それと同時に、努力次第で自分にはこんなにも可能性があるのかと感じました。この経験を生かし、様々なことにチャレンジしたいと思いました。

福島で歌うということ

高1 平松 果奈

3月17日に福島県で行われた声楽アンサンブルコンテストに、私達『十六茶』のメンバーは出場しました。

福島に着いて、1日目、私達は合唱よりもっと大切なことを学びました。東日本大震災の震災学習を行い、被災地で実際に見て、聞いて学びました。それは想像以上に恐ろしく、胸が痛むものばかりでした。実際に、旦那さんが津波の犠

牲となった語り部の方の話を聞かせていただきました。私は涙が止まりませんでした。その後、授業で習った『群青』の作曲者である小田先生に会いに行きました。群青に込められた思いや歌い方など、一つひとつ丁寧に教えていただきました。

小田先生が見せてくれたビデオ、これを見てこの曲の本当の意味が分かりました。そのビデオには群青が作曲されるまでの出来事、津波で亡くなった友達に向けて『群青』を歌っているところが映されていました。生徒みんなが思いをつまらせ涙を流し、それでも必死に『群青』を歌い上げていました。最後に小田先生が語った言葉「それぞれ自分にとっての群青があつていい」。この言葉が本当に心に残っています。震災学習は切ないことばかりだったけれど、本当に大切なものを改めて考え、学ぶことができました。

3月17日、いよいよ本番。夢に見ていたあのステージを実際に自分の目で見、喜びがわき上がってきました。それと同時に、今までにない緊張を感じました。全国の代表である合唱団の前に、自分と仲間を信じて歌いました。『涙』『雨のあと』『あわ雪』この3曲に、前日の

し、受験勉強を頑張ります。

今シーズンを振り返って

高1 木科 雄登



2016～17年、色々な経験をする事ができたシーズンでした。

8月のアジアントロフィーから3月ルタセンブルクでのクープドプラランタン2017まで9試合、少し悔いの残る試合もありましたが、4試合を優勝する事ができました。最後の試合、クープド

震災学習のすべてを込めて16人で歌い上げました。「雨のあと」を歌う時は、自然と、語り部の方、小田先生、ビデオで見た生徒達の顔が浮かんできました。それぞれの悲しみを全て混ぜて、歌声で気持ちを思いっきりぶつけました。高音が割れたとか、あの部分が少し低かったなどいろいろありましたが、本当に心を込めて全員で歌ったので、歌に込めた気持ちは十分に表現できたと思います。今回の全国大会では震災学習も含め、たくさんものを得ました。今後に生かしていきます。

全国高等学校選抜スキー大会に出場して

高3 西川 華

私は3月に長野県山ノ内町で行われた第29回全国高等学校選抜スキー大会に出場しました。この大会はジャイアントスキーマ場という日本屈指の急斜面で行われるので、最初は完走できるか不安でいっぱいでした。しかし、スタートハウスで他県の友達と談笑しているとその不安も和らぎ、大会の雰囲気を楽しみながらレースに挑むことができました。

高校2年間で5度全国大会に出場させ



ていただきました。全国大会に出場する度にレベルの差を痛感しましたが、徐々にタイム差が縮まることで自分に自信ができました。このような貴重な経験をさせていただけのも遠くまで引率して下さった先生方のおかげです。本当にありがとうございました。今後はスキーで培った集中力や忍耐力を勉強面で発揮

プランタン2017では、半年続いた連戦に、気持ちもたず大変でしたが、なんとか優勝でシーズンを終えることができ、ホッとしています。今は、これから始まるシーズンの振り付けをがんばっています。

一人でも多くの方に何かを伝える事のできる、また心に残る様なスケートができるように練習したいと思います。

昨シーズンたくさんの方の応援を頂き力になりました。また今シーズンもがんばりますので、応援よろしくお願いします。



第64回中国高校卓球選手権大会に出場して

高3 内山 桃花

私たち女子卓球部は6月16日から17日に鳥根県で行われた第64回中国高校卓球選手権大会に出場しました。1回戦では鳥取県の米子高専と対戦して3-0で勝ち、2回戦では広島県の進徳女子高校と対戦し0-3で敗れました。

私は中学と高校の6年間、卓球を続けてきたことで様々なことを学びました。その中で、諦めずに何度も挑戦し続けるということが最も大切なことだと感じました。負けてしまっても悔しいと思うことは何度もあったけれど、その悔しさをバネにチーム全員で日々練習を続けてきました。そして中国大会でベスト16という成績を修めることができました。チームで心を一つにして全力でプレーしたことで悔いの残らない試合ができ、卓球を続けてきた金光学園卓球部として最後まで戦うことができてよかったと思いました。どんなときも皆で励まし合い、頑張ってきた練習。その結果、中国大会への切符を手にすることができました。何があっても諦めなかったことは自分にとって



とても意味のあることだと思います。仲間の大切さ、仲間がいたから出来たこと、何をするにおいても大切なことだと私は思います。これからも卓球を通じて学んだことを様々な場面で生かしていきたいです。



城戸 勇人



今年度より金光学園に勤めさせていただくことになりました。城戸 勇人と申します。中学2年の学年団に所属しており、授業は中学2年の理科Ⅰ、理科Ⅱ、高校の探究授業を担当いたします。また、部活動は音楽部吹奏楽団と科学部を担当いたします。

私は、幼いころから先生という職業に憧れていました。そのきっかけは小学4年生と6年生の頃の担任の先生であり、偶然にもその先生は金光学園の卒業生でもありました。10年前に私も金光学園の門をくぐり、かけがえのない6年間を過ごすことができました。そうした中で、「金光学園で先生になりたい」という思いが芽生えてきて、今年度それが叶うことができてありがたいという気持ちでいっぱいです。金光学園で過ごした6年間は言葉では言い表せないほどのたくさんさんの思い出があります。そうした思い出があるのも、仲間の存在だけな

く、先生方の影でのサポートがあったからこそだと思います。今度は、私と同じように、「金光学園でたくさんさんの思い出を作ることができた」「金光学園を卒業してよかった」と思える生徒が1人でも増えるよう、勉強だけでなく、心の面でもサポートできたらと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

弓削 育之



今年度から金光学園で勤務させていただきましたことになりました。弓削 育之と申します。中学校3年生に配属になり、4組の副担任をさせていただく運びとなりました。教科は英語で、授業では中学3年生の英DとESを担当させていただきます。部活動は卓球部と英語部を受け持ちます。

私はここ金光で生まれ育ち、中学・高校という非常に大切な6年間を金光学園で過ごしました。その長い時間を金光学園で過ごす中で、たくさんさんの大切な仲間に出会い、言葉で言い尽くすことのできないくらいたくさんさんの心に残る思い出ができました。小学生的頃から漠然と教師になりたいという気持ちはあったのですが、金光学園で

様々な先生方・友達と接していくことで、「金光学園で絶対に教師になるんだ」と思うようになりました。

金光学園は自分の夢を叶えることのできる場所です。たくさんさんの様々な夢を抱いてそれらに向かって挑戦し、たくさん失敗し、そこからまた挑戦して成功を掴み取ることのできる場所でもあります。中学・高校という大切な時間を子どもたちと一緒に過ごして、一人でも多くの子どもたちの夢や心を支えられるように全力でがんばっていきます。よろしくお願ひ致します。

Clinton Carter



Hello! Nice to meet you. My name is Clinton Carter. Please call me Clinton. I'm from America, but now I live in Fukuyama city. I like many kinds of Japanese foods, such as seafood and sashimi. But I don't like bean paste very much. I like art, music & sports. In Junior and Senior high school I played baseball and basketball. In my free time I usually study, draw, sing and practice the piano. I hope you have a wonderful day. Bye!

イギリス 短期語学研修



中学3年生と高校1、2年生の生徒21人と引率教員2名(志手彩、服部和人)が16日間のイギリス短期語学研修に参加しました。生徒はロンドン北部近郊に広がる特別区エッジフィールドでホームステイをしながら、教会での授業や現地の学校訪問、ロンドン観光やケンブリッジ(大学)訪問を行いました。多彩なプログラムを満喫すると同時に英語を通してのコミュニケーション力の向上をしっかりと図りました。イギリスの異文化体験を肌で堪能しました。



ものでした。ホスト先のテレビでニュースを見ましたが、伝えられる情報はとても悲惨な情報で、二度と起きることのないように祈るばかりです。ビック・ベンへ訪れたときも、その前の芝生には多くの花が手向けられていました。

私のイギリス語学研修での目標は、現地の英語に触れる、英語力をつける、コミュニケーション能力の向上でした。嬉しいことができ、私はすべての目標を達成することができました。特に、英語力では、リスニングが強く伸びたと思います。今後の海外に行ったときなどに役立てば良いと思います。

この研修には、いろいろな方々の協力が

すべての目標を達成した

高1 辻川 祐太郎

私は、イギリス語学研修のプログラムに参加して、多くの体験をし、大いに成長することができました。

このプログラムでは、ホームステイをさせていただく現地の方と、生活を共にします。日本から遠く離れたイギリスで、現地の顔も知らない人達と一緒に暮らすのはと

ても不安でした。しかし、実際にホストファミリーと会ってみると、不安に思っていたことを申し訳なくなりました。とても優しい方で、とても安心しました。

ロンドン観光では、美しい建造物の他に、古くから受け継がれていたもの、文化を学ぶことができました。そして、3月22日に起きたビック・ベン付近でのテロ事件は、4人もの死亡者を出した、本当に胸が痛む

自分自身を成長させた

高1 丸野 可奈恵

私はイギリス留学で学んだことが3つあります。1つ目は、スタディーセンターで意見を言うことの大切さを学びました。私は意見を言うことが苦手で、今までは黙ってしまったり、人と同じような意見を言うたりしていました。しかし、スタディーセンターでは意見を求められることが多く、どれだけ自分の意見を言うことが大切であるか、気づかされました。

2つ目は、ホームステイで異文化を学びました。日本とは全く違うルールや建物をみて、本当に驚きました。日本では親がやってくれることも自分でやるという、自立した生活もとても刺激になりました。そして、ホストファミリーはとても優しくしてくれて、慣れない生活の中でも安心することができました。言葉が伝わらなかつたときは、簡単な英文に直して一生懸命伝えようとしてくれたことにとっても感動し、理解できたときは本当に嬉しかったです。

3つ目は、チョンシースクールで学んだコミュニケーションをとることの楽しさです。同年代の人達と一緒に授業に参加したり、体育をしたりして、とても楽しかったです。みんなフレンドリーで、分からない

ことも丁寧に教えてくれて、もっと話したいと思いました。一緒に写真を撮ったり、連絡先を交換したりと、思った以上に仲良くなれて、嬉しかったし、何よりとても楽しかったです。

このイギリス研修で学んだことを、日本の生活でも活かして、もっと自分を成長させていきたいと思っています。また、高校生になってからも英語力を伸ばして、今よりもっと話せるようになりたいです。そして、また留学や国際的な活動があれば、積極的に参加しようと思います。

あつてこそできたものだと思います。ISAの方々、先生方、現地のみなさん、そして何より、私を育て、イギリスに見送ってくださった両親のおかげです。

将来、英語を使った仕事に就きたいです。そのためには、もっともっと学んで、たくさんさんの研修に参加し、多くの経験を積み必要があります。その大きな一歩として、このイギリス語学研修に参加できて本当に嬉しです。小さいことからコツコツと、を目標に高校生活を過ごしていきたいと思



新しい姉妹校交流のスタート！

かけがえのない経験と友情、 多くのことを学んだ11日間の研修



〓 オーストラリア・Radford College 第1回姉妹校交流〓
2017年3月19〜29日

活動、高校体育会に参加します。全校で、おもてなしの気持ちを持って迎えましょう。

オーストラリアならではの体験

高1 山下 紗紀

初めての土地。初めての人。初めての外貨。何もかもが初めてだらけの私には不安しかなかった。

私が今回姉妹校交流で学んだことは、積極的に挑戦する気持ちと異文化理解の大切さだ。積極的に挑戦しろというのはどの場面でも言われる言葉だが、今回改めて大切に気付けた。行く前まで



は、ホストファミリーに言いたいことが伝わるか不安だった。しかし、対面式の時に緊張しないでたくさん話せたので楽しくかった。ホストファミリーはとても温かく、優しく受け入れてくれて、毎日があつという間で、笑顔が溢れていた。時には、写真を撮ったり音楽を聞いた。時は、ホストファミリーとの会話も最初は上手くできずに悔しい思いをして、自分から話しかけられる勇氣もなくなった。



しかし、伝えないと思っていないのと同じなので、頑張って話そうとした。ホストファミリーはそんな私の英語を分かってくれたので、失敗する怖さもなくなつた。そして、挑戦することで自分自身の成長にもなるのだと思つた。7日間は本当にあつという間で、離れるのがとても辛かった。それと同時に、たくさんお世話になり、明るく接してくれて、本当に感謝の気持ちでいっぱいだった。

異文化体験では、オーストラリアの料理を作り、アポリジニアアートやダンスを学ぶことができた。私が一番驚いたのは、アポリジニダンスで楽器を吹くだけでなく、動物の鳴きマネなど、1つの楽器からたくさん音声が聞こえたことだ。日本文化しか知らない私にとっては、とても貴重な体験だった。そして、毎年3月21日に「ハーモニデー」というものを盛大に祝うことも知つた。多民族国家なので、他国の文化を尊重して、それぞれの文化に感謝をしながら、みんなでハーモニーを奏でて祝うそう。この日はオレンジ色を身につけるらしく、私も顔に

オレンジ色のラインを塗つた。日本では見かけないので、とても素敵だと思つた。

シドニー研修では、オペラハウスやハーバーブリッジ、ブルーマウンテンなど、初めて見ることができていい思い出になった。

今回の交流では、日本で学ぶことができない経験をたくさんすることができた。毎日英語を使って会話をしたので、自分自身も英語の勉強になったし、もつと英語を使いたいと思えた。英語は日本でも学ぶことはできるが、英語を母国語として人々の話を聞いているとまだまだ努力しないと聞けないという気持ちになった。それが日本との違いだと思つた。そして、たくさんさんの思い出が宝物として残っている。今後は挑戦する気持ちを忘れずに異文化をもつと学びたい。

感謝を忘れず挑戦していきたい

高1 藤井 優妃

オーストラリア研修に行つて、数えきれないほどたくさんさんの刺激をもらいました。行つたことのない未知の地での研修を通して、感じ、そして学んだことがいくつもあります。

1つ目は、感謝です。たくさんの方に支えられたからこそ、私たちは安全に過

ごし、無事に日本に帰ってこられました。その陰には、旅行プランを考え、その他細かいことを全てしていただいたJTBの方。研修に向けて連絡を取ったり英語講座を計画したりしていただいた先生方。準備を手伝ってくれたりたくさんのお金を用意してくれたりした両親。たくさん準備をして、温かい気持ちで迎え入れてくださったホストファミリー。他にも数えきれない感謝がたくさんあります。この研修は、ただ楽しかったな、勉強になったな、で終わるのではなく、こうやってたくさんの人に支えられてきた研修だということ忘れてはいけません。

2つ目は、何事にも挑戦する気持ちです。私は英語を話すのは上手ではありません。でも、話せないからといって、ずっと黙っている方がいけないと思います。英語が下手でも伝えたいという意志があれば、相手もきちんと話を聞いてくれるようになります。だから、伝わらず失敗するのを恐れて黙り込むより、何でも挑戦をすればよいと思います。

オーストラリア研修を通して、少しだけ英語力が上がった気がします。ホーム

ステイの初めの頃は、ホストファミリーが話しているても、簡単な英語しか聞き取れなかったけど、終わりの頃は8割くらい聞き取れるようになりました。しかも、自分の口から自然と英語が出てきて、とても驚くほど英語力が上達しました。毎日夜ごはんを食べた後はファミリーと団らんの時間で、英語を聞き取ることができると会話もスムーズに進んで、とても楽しかったです。

学校へ行くと、みんなとてもフレンドリーで、他のホストファミリーともすぐ仲良くなれました。放課後はバスケットをしたりして、とても楽しいものでした。また、授業を受けたり交流したり、アボリジニの異文化を体験したりと、ラッドフォードカレッジでの出来事はすべて貴重でした。最後に学校を訪れた3月24日は私の誕生日でした。朝からたくさんの方が祝ってくれたり、一日に何度も歌を歌ってくれたり、すごく嬉しかったです。きっと一生忘れられない日になったと思います。



オーストラリア研修で学んだことは、これから勉強していく上できつと役に立つと思うし、活かしていきたいと思えます。帰って終わりではなく、これからの本番です。将来に向け頑張っていきたいと思えます。

いつの日かもう一度訪れたい

高1 守分 桃伽

「やったー！ オーストラリアに行ける！」

そう思う反面、自分の英語力の未熟さに不安もかなりあった。しかし、オーストラリアに降り立った瞬間、「よし、頑

張るぞ」という変な自信が湧いてきた。

そんな気持ちでラッドフォードカレッジを訪れ、ホストファミリーのローラと出会った。最初は緊張しすぎて固まっていたが、ローラは優しく笑顔で接してくれて、なんとか自己紹介できた。が、1日目は家族に向けて質問したいことを英語でなかなか発することができず、もどかしかった。翌朝、自分からあいさつをする、「よく眠れた？」とホストファミリーとマザーが私を思いやって言った言葉がとてもうれしく、英会話ができたことに喜びを覚えた。2日目は夜ご飯にピザを手作りさせてもらい、日本のことも話をする事ができ、随分家族と打ちとけられた。日本にはないカードゲームをさせてもらい、最初は遊び方が分からなかったが、やっていくうちに理解できて、いつの間にか盛り上がりつつあった。たくさん会話をすることで、英語で伝えるのは難しかったが、理解しようとしてくれたのでうれしかった。ホストファミリーと過ごした時間は、私にとってかけがえのない思い出となり、また英語力を身につけて成長した自分を見てもらいに、キャンベラに戻ってくることを約束



した。シドニー観光では、オペラハウスの見学が私にとって一番興味を引く場所だった。なぜなら、ロビーにはバレエのグッズが華やかに並べられていたからで、見

た瞬間、一気にテンションが上がった。できることなら、オペラハウスでオーストラリア・バレエ団の舞台を見たかった。そんな思いを目標に、私が大人になったとき、必ず訪れたいと心に決めた。

今回の研修は、私が初めてホームステイをするには最高の場所であり、ますます英語力を伸ばしたいというきっかけとなった。次回機会があれば、もっと良い交流ができると確信している。オーストラリア姉妹校交流の一期生となれて本当に良かった。これを実現して下さった学園の先生方、背中を押してくれた家族にとっても感謝している。高校生になった今、新たな目標を見つけた。日常で英語に慣れるために洋画を見たり、洋楽を聞いたり、積極的に取り組んでいきたい。そして英検を取得し、自分の夢を決めていきたい。

たくさんの宝物

高1 田中 茉莉子

私は11月にラッドフォードに行けることが決まったときから、この訪問がとても楽しみでした。私は中一の時から金光学園に来る留学生のホームステイの受け



デントのエリスとメールのやり取りをしたので、だんだん楽しみになった。
約10時間のフライトを終え、キャンベラに到着した。そこからバスでラッドフォードカレッジまで移動したが、まず私はオーストラリアの車のスピードに驚いた。時速70、80キロを出して走っていた。また、道路脇にはカンガルーがいたことにも驚いた。ラッドフォードカレッジに到着すると、生徒たちが私たちを待っていてくれた。エリスともすぐ打ち解けることができ、ホストファミリーも私を迎え入れてくれて、すごく嬉しく、また安心した。
とても緊張している私に、ホストファミリー

ミリーはたくさん話しかけてくれた。英語は、最初は何を言っているのか全然分からなくて「もう一度教えて」といった私に、ゆっくり何度も教えてくれた。自分が伝えたいことも初めは単語ずつでなかなか通じなかったが、だんだんと過ごしていくうちに、内容も少しずつ分かるようになっていった。ホストファミリーや学校の友達と会話をするのがとても楽しかった。
エリスはとても明るい性格で、私が困っている時はいつも助けてくれた。彼女は習い事やクラブが忙しく、家ではあまり一緒に過ごせなかったが、一度学校が早く終わった日に2人でカフェに行った。オーストラリアのこと、日本のこと、お互いのこと、たくさん話すことができて、本当に楽しい時間を過ごせた。休日はホストマザーと植物園へ行ったたり、学校が終わったらホストブラザーやマザーとたくさん話したりして、とても充実した日々を過ごすことができた。エリスやホストファミリーのおかげで、自分の考え方や価値観が変わったような気がした。



入れをよくしていました。留学生たちと話をしていた、私も外国の学校に行ってみたく思っていました。

11日間のオーストラリア研修は、本当に素晴らしい経験ができました。特に心に残ったことは、3つあります。

1つ目は、バスケットをしたことです。私はバスケットはあまり得意ではありません。体力もないし、上手でないで、正直毎日バスケットをすることに「またバスケットか……」と思ったこともありましたが、でも、フェアウェルパーティーの後にしたバスケットの時に、これが最後か……と思うととても寂しくなりました。下手なりに本気でしたら、とても楽しかったです。毎日のバスケットのおかげで、たくさんのオーストラリアの友達ができました。また、土曜日にみんなで動物園とショッピングに行つてメリーゴーランドに乗つたのもとてもいい思い出です。私のホストファミリーのトムは、9月に日本に来なくても残念だけど、オーストラリアで仲良くなった人をぜひホストファミリーになつて受け入れたいと思います。

2つ目は、ラッドフォードに着いた日の放課後のペイントに行つたことです。



金曜日は、一部の人はスポーツデイがあるので、そのための準備で、木の板に絵を描くのを手伝いました。グループは全員男子でした。みんなすごく積極的で、いろんなアイデアを出していて、行き当たりばつたりな感じなのにすごく楽しかったです。一段落ついたときには誰かが買ってきたパンやジュースを食べて、み

んなでワイワイしました。私もほつま祭などの行事であんなふうに頑張ろうと思っています。

3つ目はホストファミリーです。お父さん、お母さん、弟が2人の5人家族でした。とても優しくてご飯はおいしかったし、ご飯中のおしゃべりも楽しかったです。家族で日本に来て欲しいです。

私はオーストラリア研修でたくさん素晴らしい人と出会えました。また、たくさん素晴らしい宝物を見つけることができました。

私ももっとと英語を勉強しようと思います。そして、人との出会いを大切に、これからももっとと外国人と友達になりたいです。そして、またいつかオーストラリアに行けたらいいと思います。

価値観が変わった

高2 荒木 佳苗

今回のオーストラリア研修で、私は多くのことを学んだ。ホームステイすることは私にとって生まれて初めての経験であり、不安と楽しみで複雑な気持ちだった。でも、出発前にホストファミリー

オーストラリアで過ごした日々は、英語を学ぶことの大切さだけでなく、言語の違う国でのコミュニケーションの取り方や感謝の気持ちの伝え方、自分で行動する重要さなども学ぶことができた。今回の貴重な経験をきっかけに、もっと多くのことを学んで、たくさんのお出合いを大切にしたい。

高1 入校時合宿

これからの高校生活

1組 山本 幸歩

私は入校時合宿でこれからの高校生活に対する大きな目標を持つことができませんでした。それは「見つけた夢に向かって何をすべきか考えて全力で取り組むこと」と「感謝の気持ちを忘れないこと」です。

坐禅体験は初めてだったので、とても緊張していました。坐禅をする意味を教えてもらってお坊さんの大変さがよく分かりました。始まりの合図で静まり返った室内は鳥の鳴き声と風の音しか聞こえませんでした。そのような雰囲気の中の坐禅体験は普段考えることのないことをじっくり考えて自分と向き合うことができました。ここで夢のために何ができるかも考えました。

ゼミでは学習習慣をしっかりと身につけることができました。国語や数学や英語



常々そんなに自主学習の時間を設けることが出来ていません。高校生になって1週間以上経っていますが提出物をするだけで家庭学習を終えてしまっている気がします。

ら入校時合宿の自主学習時間を通して感じたのは、家庭でも自主学習時間を設けることでその日に授業で学んだことをもう一度学習し、理解が深められることが出来、毎日家庭学習をすることで、テスト勉強へと近づいていくのではないかとこのことです。中学生の頃の自分の気持ちとは切り替えて、高校生として、ちゃんと自分の目標とするものに向き合いそれに向かって日々コツコツと地道に努力をしていくことで、自分の目標に一歩ずつ近づいていけるのだと思います。私は高校生活を中学生の頃とは違い一生懸命に努力していきたいです。

の授業はもちろん、自習時間の集中力が一番大事だと感じました。最初の30分の「魔のリターン運動」にひっかかりたくない状況で勉強することが当たり前になるようにしたいです。今回、自習時間を有効に使えました。高校生になって一気に勉強が難しくなったので、予習↓授業↓復習のサイクルを早く身につけたいです。

パーベキューやレクリエーションでは、今まであまり話したことのない子や高入生と親睦を深めました。レクリエーションの時にクラス全員で応援してくれてとてもいいクラスだと思いました。これからの行事が楽しみです。

不安なこともたくさんありますが、この合宿で決めた大きな目標を持ってこれから頑張っていきます。



中学生から高校生へ

2組 豊田 祥子

私は今回の入校時合宿を経て高校生としての決心を改めてすることが出来たと思います。今までの自分には、高校生になつたという実感がしつかりと持てていませんでした。ただ勉強が中学生の時に比べてもっと大変になっていくんだろなという感覚はありませんでした。しかし、入校時合宿前の講演を聞いているうちに、それだけではないのだということを実感しました。将来、自分がなりたいと決めた事に向かって高校生活を有効に使い努力をする。中学校ではあまり気にしていないことでした。将来の夢というのは中学生の時から持っていて憧れを抱いていました。しかし、その夢に向かって特に努力をしていませんでした。ただ、いつも心の中で将来のことを想像するだけで終わってしまっていました。でも、高校生からはちゃんと自分の将来の夢、目標としているものと向き合って必要なことをしっかりと考え努力をしていかなければいけないのだなと思います。今回の入校時合宿の初日の最後には、自主学習という時間がありました。私は日

団結力・自主性・姿勢

3組 佐々木 大暢

私は、この入校時合宿を通して学んだことが3つあります。

まず、みんなで何事でも協力しようとする団結力です。一人で考えて動くこともとても大切ですが、みんなで協力することにより、様々な意見を出し合うことができ、良いものになっていくと思います。学校とは違う環境の中でどうみんなと協力し、一人ひとりが楽しんでいけるかということが大切です。

次に、自主性を持って動くかどうかです。普段、学校などでは時間を気にしたり、学校はやる事がいつも決まっているので動きやすいですが、合宿は自分の考えを持ってちゃんと葉を把握していかないといけないので、自主的に人に頼ることなく動く力がつくのでとても良いことだと思います。自主的に動くので、判断することなどが苦手な人でも判断力が身に付くので、良い合宿になったと思っています。

最後に、合宿に対してどのような態度で向かうかという姿勢の大切さを学びました。自分がだるいとかマイナスの雰囲気

気を出しては、合宿に対しての気持ちも低下していくと思います、少し大変でもプラスの方向に持っていくことをしてきました。周りの人と協力して片付けや、レクリエーションをしてクラスの団結力をつけるために良い活動ができたと思っています。自主的に取り組まないとこの合宿で活動する内容、そして合宿を通して学んだことが身につかないし、今後活用していけなくなつて長続きしないと思います。それを目標にこの合宿を終えることが出来たので今はとても満足しています。

今まで経験した事がない坐禅体験も、自分のことを見つめ直す良い機会になったことと、自分の全てを出せた気がします。

この合宿の経験は、これから3年間の学園生活の良いスタートになったと思っています。



大きく成長できる3年間

4組 吉貫 沙希

私は入校時合宿で、勉強や坐禅、パーベキューなどたくさんのごことをして過ごしました。

入校時合宿の葉を最初に見た時、勉強が中心となっていて大変だなと感じていました。しかし、当日になってみると確かに勉強もあるけれど、坐禅やパーベキューなどもあり、とても楽しかったです。

私が一番楽しかったと感じたことは、レクリエーションです。クラス対抗では3回目のことわざを解く部門に出場しました。ことわざは得意だったので自信があったのですが、問題を見ると難しい問題もあり、3人で協力して解くことが出来ました。最後に、フォークダンスだったのがドッジボールに変わり男女別のクラス対抗



になりました。ドッジボールのボールを持ってみた時、かなり重くてこれであてられたら絶対痛いなと思います、必死に逃げました。試合では、学園中出身の人のレベルがとても高くて、私の中学校のレベルの低さがとてもよく分かりました。たくさんあてられたけど、楽しかったです。

この入校時合宿を通して、仲間と協力することの大切さや勉強の仕方など、たくさんのことを学びました。

私は、他の中学校から来た高入生でも不安なことが多いですが、私以外にも高入生はたくさんいて同じように不安な気持ちがあると思うので頑張っていきたいと思います。

この高校生活3年間で、何事にも一所懸命に手を抜かず、短所を少なくして長所を伸ばせるように、精神的にも大きく成長できる3年間にしていきたいです。

私は、あまり自己主張ができない人間なのですが、もつと自分の意見や自分から人に話しかけるなど、もつと自己主張が出来るように頑張っていきたいと思っています。

課題も見つかった合宿

5組 宮本 将成

この合宿で、全体的なテーマは主体性や自主性であった。校長先生も言われていたようにただ机について先生の話をポーツとして聞いているだけでは何もしない。しかし、その授業の内容を自分のものにしようと積極的に取り組めば学力がつくし勉強の面白さを感じることが出来る。それを頭の中において、この合宿に臨んだ。



個人的な目標としては、施設の方へきちんとあいさつをする。すべての行動に責任をもち時間を厳守する。

初日は、勉強中心で、楽しい合宿といった感じではなかったが、主体性や自主性を持って取り組むことで、成長できたとし、それらを意識せずにただただ過

していた生徒に差をつけることができたと思う。初日で一番楽しかったのはパーベキューで、お肉は美味しかったし、クラスの親睦を深めることができた。

2日目は、レクリエーションの企画もあり、全員で楽しむことができた。オリエンテーションでは他クラスとのかかわりも多くあつて新しい友人も多くできた。

2日間を通して、自分が見つけた学年としての課題は、切りかえのおそさだと思ふ。中学校のころから、その部分できていなくて先生から指摘され続けていたことだ。社会に出てからでは、誰も指摘してくれなくなると思うし、そんな人は社会に通用しないと思う。まだまだ課題はあると思うけど、この合宿でそれを明確にできたのは良いことだと思うのでなるべく早く改善していきたい。

高校生の自覚を持つて

6組 上田 百華

私はこの2日間とても疲れしました。特に、初日が疲れました。

まず、1日目には神勝寺に行つて坐禅を組みました。これは私にとって初めて

の経験でした。半跏と結跏という足の組み方があり、私はこの機会にと結跏をしてみました。

私はそんなに体が柔らかくないので、結跏はとても難しかったです。無理を



たせいもあり、坐禅が終わった後、足がしびれすぎて歩けなくてとても痛かったです。自分の足じやないみたいになりました。また、希望者だけがしてもらえらる警策も体験しようと思つていただけ、合掌するタイミングが掴めず結局してもらえませんでした。だから、また坐禅を組みに行きたいと思います。

その次に、勉強が始まりました。最初はそれ程嫌とは思っていませんでした。ゼミでのプリント学習は難しいことはやっていないので普通に頑張れました。問題は自習の時間でした。夕食を食べてお腹いっぱいになった上に1日の疲れがたまって眠たくなったからです。体も焼肉の油で臭

くて自習に集中できませんでした。でも、このにおいと疲れを入浴で洗い流せてとても気持ちよかったです。

2日目は、1日目程疲れることがなく、楽しくレクリエーションができてよかったです。リレーをしたことでみんなが団結してお互いに応援をしていてこの学年の良さを痛感しました。そして、私たち6組は総合1位になることができ、6組のすごさを感じました。

この合宿はとても楽しかったし、クラスの人とも少し仲が深まって良かったです。でも相変わらず集合が遅いので、高校生の自覚をしっかりと持つてこの高校生活を楽しみたいと思ひます。



中学生になって



夢に向かって

2組 小野 貴義

ぼくが中学生になってがんばりたいことは、3つあります。

1つ目は、英語と数学の勉強です。多くの将来の夢は、世界で活躍できる1級建築士になることです。3年生のとき、お父さんが設計し、建てた家を見に行き

極的に話をして、いっぱい友達を作りたいです。そして高校を卒業するときには、同じ学年の人全員と友達になっていきたいです。

勉強・部活動・友達作り

4組 金光 文夫

僕が中学生になってやりたいことは、3つあります。

1つ目は勉強です。特に国語と英語をがんばりたいです。理由は、中学校では小学校とは違って、より広く深く学ぶからです。国語はどんな教科でも使うので基本だと思うし、金光学園は国際的な交流が活発なので、留学生などの外国人と会話できれば、生活もぐっと楽しくなると思うからです。そして、英語が上達してチャンスがあれば、海外の語学研修などにも参加していきたいです。

2つ目は、部活動です。小学生の時に、スポーツ少年団に所属していたので、その経験を生かして新しいスポーツに積極的に取り組みたいです。

3つ目は、友達をたくさんつくることです。小学生のころとはちがって中学生になると、広い範囲からたくさんの人が

通学しているので、人数も多いし、知らない人もたくさんいます。友達をたくさん作るには、僕はあいさつや声掛けを積極的にすればいいと思います。そう



すること、多くの人と会話ができて、会話をすれば、友達になるきっかけになるかもしれないからです。

このように僕は、勉強、部活動、友達作りに特に積極的に取り組み、毎日が楽しく充実した、学園生活を送っています。

音楽部吹奏楽団との出会い

5組 柏原 梨花

私は中学生になって特になんばりたいことが2つあります。

まず1つ目は英語を話せる、理解できる、書けるようになることです。将来、国際的な仕事につきたいと思っています。そのためには英語が必要になるので

ました。その家が、想像以上にかっこよく、特に、障子を全て開けると、庭がとてもきれいに見えるように設計されており、感動しました。その出来事をきっかけに、どんな建築士に興味を持ち始め、5年生になり、世界で活躍できる1級建築士になることが、将来の夢となりました。その夢に一步近づくために、まず英語と数学に力を入れようと思いました。だから英語は、英単語の発音などがうまく言えるように、先生の発音をよく聞きたいです。また、数学では、その日の授業の復習や次の授業の予習をすることを心掛けるようにしています。

2つ目は、部活動です。ぼくは、5年生から6年生まで受験勉強で忙しく、スポーツは何も習っていなかったからです。部活では、すぐにいっぱい友達を作り、楽しく部活をしたいです。また、先輩たちにもついていけるように、がんばります。

3つ目は、友達作りです。金光学園中学校は受験して入学する学校のため、いろいろな地域から生徒が集まっています。だから、いろいろな友達ができるとてもいいきっかけとなると思うので、積極的に取り組みます。

2つ目は部活動です。私は保育園のころから生活発表会でドラムを叩いたり、ダンスやピアノも習ったりしていました。音楽が大好きで大の得意分野です。それを生かすため、音楽部吹奏楽団への入部を希望しようと思っていたのですが、弟が剣道を習っていて、少し武道の方にも興味があったので金光学園に来る前までは、どっちにしようかと迷っていました。しかし、心が決まったのは入学式の日。入場前、体育館の階段で待機している時、なにやらすごいきれいな音が聞こえてきたのです。「何の曲だろうな、CDかな」と思いながら聞いていたら急に音が大きくなったのでびっくりしながら入場すると、そこにはたくさんの金色に輝く楽器やどこか懐かしさを覚えるドラム、大きなバイオリンみたいなコントラバスなど本当にたくさんの楽器がありました。その光景にとっても魅力を感じたのと同時に何か体に電撃が走ったような感じがしました。「自分に

はこれがぴったりなんだ」と思いました。もうここには書き切れないほどの感動と好奇心、ワクワクがその瞬間にあふれました。パートはまだ何がしたいか考え中ですが、過去に経験がある打楽器か、一際目をひくコントラバスのどちらかをやりたいなと思っています。

私は主にこの2つをがんばろうと思いますが、他にもたくさんの人と友好関係を築いたり、委員会や実行委員会に積極的に取り組みたいと思っています。少しでも学園や友達のためにできることをたくさんやっていきたいと思っています。忙しい1年間になりそうです。

が、自分のことができることや、やらなければいけないことはちゃんとこなしていけるようになる方がいいです。



新入生歓迎会

思い伝わる歓迎会

5組 藤井 一鷹

アーチをくぐって舞台へ立った。僕たちが入場している間、先輩達は姿勢をくずさず、笑顔で拍手を下さった。そのときばかりは、「素晴らしい先輩のいる



金光学園に入學できて本当に良かった。」と思った。自分達の挨拶から始まった。その前の入場で、吹奏楽部の方々の演奏がとも迫力があり、僕達の入学を祝福して下さっ

ているように、感謝の気持ちが高み上げていた。

そのこともあり、挨拶をする時は「学園生活を充実したものにす



たものにするぞ」という気持ちと「ありがとう」という感謝の気持ちを込めて、先輩達に届けた。すると、先輩達はその気持ちを受け止めたというように、盛大な拍手を下さった。この時、以心伝心ができたようで、すばらしい先輩方だなあと思った。僕もこんな人間になりたいと思った。

そしてとうとう部員紹介が始まった。僕はテニス部と電気科学部に入学したいと考えている。その2つの部活を中心に、どんな紹介をして下さるんだろうとワクワク

ワクワクしながら見ていた。特に印象が強かったのは、男子ソフトテニス部、電気科学部、柔道部、少林寺拳法部、吹奏楽部の紹介である。男子ソフトテニス部と電気科学部は、実際に内容を教えて下さり、また、入りたいという思いもあって、印象が強かった。柔道部、少林寺拳法部はとてもすごい技を軽々とこなし、全員を圧巻し、印象に残った。

この歓迎会で、1つのあることを学んだ。それは「つながる」というものだ。伝えたい思いを一生懸命に伝え、それを受け止め、会場を一つにまとめ上げる。文武両道の金光学園に入學し、信頼できる先輩達と、充実した学園生活を送りたい。

学園の魅力を見つけた

1組 宮野 凌輔

4月27日新入生歓迎会があった。この会で金光学園の魅力や楽しさを感じる事ができた。

多くの声援に囲まれ僕達1年生17人は

入場した。1年生からのあいさつでは、全力を尽くし話すことができた。その後の上級生の発表では、2年3年の人柄や金光学園の魅力、楽しさを知ることができ、これからの学園生活への期待が高まった。



部活動紹介では23の部活と1つの同好会があることを学び、部活の楽しさや実績を知ることができた。僕は母に勧められ今日の歓迎会でも一番迫力のあった音楽部に入ろうと思っっている。だから1日入部で見に行つてさらに魅力を知りたい。でも他の部も見て、すばらしいところを見つけた。

今日のこの歓迎会で僕は金光学園について、たくさん知ることができた。これからは自分達で魅力や楽しさ、他に誇れる自慢などを見つけていきたい。また、来年は僕達が下級生に魅力を伝える側な

のでたくさん自慢を見つけて、来年の1年生に全部教えたい。今日の会では自分ではとてもいい会になった。それを来年に引き継いでいき、さらに良くして今回よりもっといい会になるように頑張つて準備したいと思う。

心に残った部活動紹介

4組 三宅 彩乃

新入生歓迎会。その会が私がとても楽しみにしていた行事の1つです。今日の会まで「どんな部活があるのかな」「どんな素敵な先輩がいるのかな」と胸をふくらませていました。

当日、本番の5限目の前に4限目リハーサルを行うと、1年生全員での練習が初めてでもあり、あまりそろわず緊張も感じていました。しかし、本番では、中3、中2の先輩方、先生方が明るく迎えて下さり、緊張も少しずつ消えていきました。中3や中2の先輩方の出し物は、とても楽しかったですが、特に、部活動紹介が心に残っています。運動部から文化部まで1つ1つ個性があり、とても魅力を感じました。少女時代の音楽に合わせ紹介して下さったバレエ部がとても

おもしろかったです。私は、「1日入部」では、前から入部希望のあった、「女子バスケットボール部」に入部したいです。今日の新入生歓迎会は、1年生を代表する新入生歓迎会実行委員のみんな、先輩方、先生方の貴重な時間を使い、私達が1秒でも早く金光学園になじめるために計画して下さったことをとても感じました。

来年は、中2となります。高1となる中3の先輩方の気持ちを受け継いで今の中2の先輩方と協力して新中1が喜び、楽しめるような会を開けたらいいなと思います。





中1 入校時 合宿

中学生らしく自立したい

1組 中村 剛貴

4月21日から22日まで入校時合宿がありました。その合宿でいろいろな事を学びました。

まず1つ目です。何事にも友達と協力すれば、たとえ小さな力でも大きな力に変えることができるということです。ほくはその言葉を原田先生から聞いて、金光学園に入ってよかったと思いました。

2つ目は、自立することです。ほくは、小学校の時にいろいろなことを自分でせずお母さんやお父さんに頼ってばかりだったので、これからはちゃんと中学生ということに刻んでしっかりと自立していきたいと思います。

3つ目は「人をたいせつに自分をたいせつに物をたいせつに」の合言葉です。いつも自分を大切にできてないので大切にしようと思います。金光学園を卒業してもこの言葉を大切にしていきたいと思っています。

友情を深め、地域に貢献したい

2組 荒木 永遠

僕は、この2日間の合宿を終えて勉強になったこと、感じたことが4つあります。

1つ目は、町内クリーンオリエンテーリングについてです。金光町内を掃除することで地域との関わりや、金光町内のことを知る事ができて良かったです。町内の人に挨拶をすることで、もっとつながりが大きくなったと思います。

2つ目は、学園歌コンクールについてです。はじめに1組の歌を聞いた時にすごく上手だったから、自分も歌えるだろうかと心配



時間の大切さ、友達大切さ

3組 野田 向日葵

私は、入校時合宿で学んだことが3つあります。1つ目は時間を見て行動することです。「5分前集合」を心がけると



全てが早く進みました。すると、練習の時間や作戦を考える時間ができて、有意義に過ごすことができました。

2つ目は友達の大切さです。この合宿でたくさんの友達ができまし、班のみんなとももつと仲良くなれました。友達がいるとわからないところを聞くことができ、一緒にいると楽しいから大切な存在だと気づくことができました。また、町内オリエンテーリングや夜の集い、集団ゲームなどでも協力することができ、とても楽しくなりました。「友情の火」で誓ったことができたと思います。

この合宿で時間を大切にすること、友達の大切さを学ぶことができました。これらを実行することで、より楽しく、有意義に生活していけるとわかりました。それに合言葉の「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」とも通じるところがあるので、しっかりと守っていきたいと思います。今回は時間を守りきれないところがあったので、これからは100パーセント守ることを目指して、頑張っていきたいと思います。今回の合宿で学んだことと、思い出は決して忘れず、一生の宝物にしたいです。

になりました。しかし、歌ってみると、意外に緊張がほぐれていました。4組や5組の元気な歌声にはびっくりしましたが、2組も負けていないと思いました。

3つ目は、良かったことではないけれど、集合時間に遅れることや、集合したときにしゃべることを改善できれば良いなと思ったことです。そのためには、時間を見て行動したり、周りの人が声をかけたりすると良いと思います。でも、自分から静かにすることが何より大切だと思います。次からは頑張りたいです。

4つ目は、夜の集い第2部についてです。僕は、入校時合宿の実行委員として、司会を務めさせていただきました。練習のときは緊張して、結構間違えていたけれど、たくさん練習して、本番ではうまく話すことができました。キャンドルサービスでは、落ち着いて、静かな会にすることが出来て良かったです。

最後に、僕はこの合宿で、友情を深めることができましたし、地域に貢献することができました。次にもしこのような機会があったら、今回以上に頑張りたいと思います。

中3沖縄修学旅行



金光様ありがとうございます

1組 高橋 南成子

出発する前日まで、予報ではほとんどが雨だった。だから、楽しみにしている事も全部出来るのかな、とすごく心配していた。けれど、そんな心配も無かったかのように暖かくて雨は1日しか降らなかった。それがすごく嬉しくて本当に毎日が楽しかった。

2日目までは平和学習をした。2年生からずっと学んできたことが、自分の目で見たり聞いたり出来て、充実した2日間だった。特に平和集会実行委員だったこともあり、沖縄戦についてたくさん考え、学ぶことが出来たと思う。一番印象強く残っているのはガマに入ったこと。正直すごく怖かったけど、実際の本当の恐ろしさを感じる事が出来た。

また今回、先輩方は経験していない民泊を体験した。民家さんに出会うまでは不安が沢山あったけど、すぐに慣れて楽しい事しかなかった。民泊でしか体験出来ない沖縄での生活を体験させてもらった事が嬉しかった。サトウキビや色の透き通ったきれいな海、沖縄の言葉、沖縄料理。これは民泊だからこそ体験出来た

ことだと思

う。そして、素敵な民家さんに出会えたことが何より幸せで、受け入れてくれた民家さんに感謝しかなかった。最後は別れるのがすごく悲しくて、また会いたいと強く思うほどだった。

修学旅行では、他にも沖縄を満喫できる楽しいことが沢山あった。首里城や水族館、国際通りの自由時間、友達やクラスで思い出を作ることが出来た。新しいクラスになってすぐの行事だからこそ、お互いの事をたくさん知れて、さらに絆が深まったと思う。またクラスの団結力、団体の素晴らしさ、絆の大切さ。これら全てを修学旅行を通じて学ぶことができた。

時には大変な事や戸惑うこともあった



けど、そんな時にはたくさんさんの支えが常にあった。だからこそ、中学3年間の最高の思い出をつくる事が出来たと思う。金光様ありがとうございます。

平和を願い続ける

2組 佐伯 英大

最初はこの修学旅行でたくさんさんのことを学んだ。

最初の2日間は体力的にも精神的にもかなり大変だった。映画を鑑賞し、調べ学習をたくさんし、事前学習でも沖縄戦の悲惨さや、残酷さがひしひしと伝わってきた。しかし、実際にガマに入り、当時の人の気持ちになってみると現代人には計り知れないほどの悲しみが伝わってきた。ほんの少しだけ昔に起きた出来事が、自分が立っている場所でも本当にあったということと思うと、怖い。このような平和についての問題は、その場に行かないと分からないことがたくさんある。

2日目から3日目にかけての民泊は一言で言うと、新鮮だった。生徒代表挨拶でも言ったように岡山とは全く違った。沖縄の家は、外見は普通なのに、家の中はどこにでも風が通る創りになってい

た。民泊の方々も、とても気さくで話しやすかったし、過ごしやすかった。

一番感動したのは沖縄の自然を体験できたことだ。マングローブ林に入り、芽が出るまでの仕組みや海水が作物に影響を与えるということなど、たくさん豆知識を沖縄弁で教えてくれた。また、その土地ならではの料理も体験することができた。すごく良い経験をさせていたのだことは、絶対に忘れないと思う。民家さんに、最後に「慣れた頃に帰るんだね」と言われ、もう一泊したいと思うほど名残惜しかった。

美ら海水族館では、海で泳ぐということと頭がいっぱいだった。その結果、10分くらいで水族館を出てしまった。でも正直、海の方が楽しかった。

色々な観光地をまわって最後に思うことは、沖縄は何回でも来たいと思えるリゾート地だということだ。でも、その背景には、昔に起きた悲劇がある。その深い傷をまだ負っていると思う。戦争を風化させず、平和を願い続けることがこれからの世代の役目だ。それをふまえた上で、また沖縄に行きたい。

沖縄ならではのことをたくさん知れた

3組 瀬崎 萌々子

私は沖縄修学旅行に行つて多くのことを学び、経験しました。

まず、糸数壕では、現地に行つてみると分からない苦しみが伝わってきました。中でも一番心が痛んだのは、もう兵隊として活躍できないと判断された人たちは、大きな空間の部屋に入れられて、水も食料も与えられず、ただ死を待つだけだったということです。昔、そのような無慈悲なことが実際にあったということとを忘れてはならないと感じました。当時の人たちは、暗いガマの中で生活し、ガマの天井から垂れるわずかな水や隙間から漏れる光に救われていたといえます。また、太陽の光を浴びることが夢であり、泥水や血や汚物が混じった水でも当時の人たちにとっては命の水であったということが、今の生活とは大きくかけ離れていると思いました。しかも、ガマの中で亡くなる人は敵に撃たれたり、病気になる以外に、水や食料を取りに行つて壕に帰ってきた人たちを見張りの人が敵と間違えて撃つてしまったという事故もあり、味方に殺されるとい

人を思うと哀れな気持ちになりました。

ひめゆり平和資料館では、修学旅行前に戦争についてたくさん勉強したけれど、自分の知らないことがたくさん書いてあり驚きました。ひめゆ



り部隊が手当をした人たちが治って元気に自分の部隊に帰れることはほとんどなかったそうです。ひめゆり部隊が看護した90日間は19人の犠牲者でしたが、自由行動になってから100人余りの人々が命を落としたそうです。つまり、自由行動にならなければ命を落とさずに済んだ人がいたかもしれないことです。平和資料館には、ひめゆり部隊の全ての人の名前が書かれてありましたが、消息不明になり自分の写真が残っていない人もたくさんいて、それらを見ると胸が苦

しくなりました。

そして、バスの中でも多くのことを学びました。沖縄ではいまだに沖縄戦の人々の遺骨が見つかるそうです。戦争以外にも例えば沖縄では2千円札が使えることや、沖縄には電車がないので車に乗る人がほとんどで、歩いたり自転車に乗ったりする人がほとんどいないこと、沖縄の人は「海は見るものだ」と思っている。「海に入らない(泳がない)」ことなどたくさんあります。なかでも驚いたのがアメリカ軍の基地の中に小・中・高・大学3つがあり、映画館やスーパもあり、ドルのみ使えるということ。私は今まで基地の中には、ヘリコプターなどが飛ぶ滑走路しかないと思っていたので、非常に驚きました。

最後に、民泊でひとつ気の付いたことがあります。それは、沖縄のスーパーには外国製のお菓子が多いということ。民泊の方に聞くと「戦後から外国人が来たりするようになって商品も外国製が増えてきた」ということでした。これからは、修学旅行での貴重な経験を活かせるように努力していきたいと思えます。

沖縄最高

4組 森永 慧之

僕は人生で一番4日間が短く感じられました。その4日間を今振り返ってみると短かった1日1日がとても大きなものだと感じてきました。言葉に出来ないくらい楽しく感じられる事がいっぱいですが、その中でも特に印象に残ったことがあります。

1つは1日目から2日目にかけての平和学習です。いろんな場所に行ってみて、その場所に行ってみないとわからない事を感じられました。糸数壕では戦争中で不安なのにたくさんの方がこんな暗く足場もわるい所に静かにいたそうです。僕だったら怖くて怖くておかしな感じがしたと思います。考えるだけでも怖いのにその場に行ってみると想像以上の怖さに胸が苦しくなりました。壕だけでなくそれぞれの場所でも感じられない事がたくさんありました。

2つ目は民泊です。僕は最初民泊は良いイメージではありませんでした。でも家に行ってみるとイメージしていたのとは違って、とても楽しかったです。とても良い笑顔で僕達を迎えてくれてゴルフをしたりパイナップル畑に行ったり、海

に行ったりカラオケやトランプをしたりしました。雨が降ったのでハートロックは見えませんでした。辺野湖に行くと基地問題の事を真剣に考える事ができました。そして民家さんの作る沖縄料理はとておいしくて何度もおかわりをしました。僕は民家さんとお別れするのがとても寂しかったけれど民家さんが「またいつでもおいで」と言ってくれて本当にうれしかったです。1日だけでしたがとても家族愛を感じられました。民家さんと一緒に作った写真飾りは一生大切にしたいと思います。

沖縄修学旅行を終えて友達との友情も深まったし、その場所でも感じられない事を感じられたし、土産や土産話、そして今までになく最高の思い出を作ることができてとてもよかったです。後悔も少しあるし終わった実感もなくてモヤモヤもしているけれど、沖縄という素晴らしいところに行けて本当によかったです。そして今僕達は平和につながるような事を少しでも考えて実現し、戦争がない世界にしなければいけないと思います。また沖縄に行きたいです。沖縄最高〜！

平和は当たり前ではない

5組 岡崎 萌香

中学3年間で最大の行事、「沖縄修学旅行」が終わりました。私は初めての沖縄だったので、とても楽しみにしていました。修学旅行なんてまだまだ先のことだと思っていたのに、あつという間に終わってしまいました。

4日間、いろいろな体験をした中で特に印象的だったのが糸数壕と民泊です。1日目に行った「糸数アブチラガマ」。入口がとても狭くて中は暗くて、懐中電灯を消しての暗闇体験はとても不安になり怖かったです。一瞬暗くなっただけでもものすごく怖いのに、実際に戦争中ガマにいた人達は何カ月もこの暗い場所です。食事もうまくできず、常に死と隣り合わせの生活を送っていました。毎日何事もなく生活できていることを当たり前だと思ってしまうのは、どんなことにも感謝の気持ちを持たず、命を大切に、平和を続けることが大切なんだと思いました。

そして、民泊です。初めは全く知らない人の家で過ごすことがとても不安で緊張していました。でも、民家さんの接しやすくて温かい人柄のおかげでそういう気

持ちはすぐに慣れることができました。たった一泊だったけど、海を見ながらご飯を食べたり、写真立てを作ったり、ハートロックやオーシャンタワーなどに連れて行ってもらったりなどたくさんさんの思い出ができました。居心地がよすぎて本当に家にいるくらいとても温かい場所、別れがさみしかったです、もつと居たいと思いました。とてもいい経験になりました。

今回の修学旅行を通して、たくさんよい体験ができ、たくさんさんの思い出を作ることができました。この修学旅行で学んだこともたくさんありました。全部が自分にとって良い経験になり忘れられない4日間になりました。





予定外の状況を楽しんだ

1組 佐藤 弘汰

初日に行った大山登山。僕はバスの中から大山の全貌を見たとき、少しの不安と驚きがあった。これからこの山に登るのかと思った。写真で見ると想像していたよりもずっと大きかった。

登り始めると延々と思えるほど続く階段、そして下の景色が見えないぐらいの

自然がそこにはあった。時折見える周りの山々や日本海などに圧倒され、励まされ一歩一歩登った。頂上に近づくにつれ気温も下がり緊張してきた。そして学年のみんなで頂上に立った時、自然の雄大さに感動した。今まで普段暮らしてきた世界とは全く違う自然の美しさを感じる事ができた。

2日目・3日目は雨で思い通りの行動ができなかった。でも、教頭先生が「上手いかなかった思い出の方が記憶に残り良い経験にすることができると言われていたように、予定外の状況を友達と協力しながら楽しむことができたと思う。

この山の学習で自然の美しさや魅力、また普段の生活のありがたみがよくわかった。身近な自然を大切にしようという気持ちも生まれた。クラスの枠を超えて仲間との絆を深めることができた。さらに良い学年になれるよう僕は頑張りたいと思う。キャンプの方はいつもよりキャンプファイヤーを大きく組んでいたそう。その話を聞いたとき、キャンプファイヤーが出来なかったことが悔しく思った。それと同時に僕たちのために動

いてくれた方々への感謝の思いが生まれた。これからは誰かのためになる事を進んでやり、もっと成長していきたい。

言葉の力はすごい

2組 難波 日奈子

私は、5月の23日から25日の2泊3日で山の学習に行った。様々な経験をした中で最も心に残っていることは大きく分けて2つである。

1つ目は、大山登山だ。まず、私は自分が大山に登りきったことに驚いている。なぜなら遥照山のように、とても疲れて最後の辺は友達におしてもらいなから登ったからだ。それなのに先生や先輩は比にならんくらい疲れるというのでとても不安だった。1合目から汗をとってもかき、無理だなど思っていた。でも友達や登山客の方のはげましもあり、一歩一歩進み、ようやく頂上について。この時、言葉の力、あたたかさはずごとと感じた。私を頂上まで連れていってくれたからだ。そして下山後の足がふるえているのには驚き、とても笑ってしまった。それと同時に自分がんばったなと思える瞬間でもあった。

2つ目は、大佐山でのキャンプだ。私は両親がキャンプ好きでよく小さい頃は行っていたが最近では全然行っておらず、楽しみにしていた。でも、天気はまさかの大雨。予定されていたキャンプファイヤーやスタンプは全てなくなってしまった。とてもショックだった。でも友達と協力して建てたテント、3班のみんなと楽しんだBBQ、全てが心に残っている。後悔もあるが、それ以上に良い思い出が作れた。また雨のおかげで普段あまり話さない子とも話すきっかけにもなった。

今回の山の学習で、私は人と人とのつながり、大自然の偉大さ、毎日の当たり前の生活のありがたみを知る、よい経験となった。学んだことを今後の学園生活に生かしていきたい。

たくさんの方々に感謝

3組 金光 七海

私は山の学習の2泊3日間、たくさんの方々のことを学びました。その中のメインのことです。

それは、1日目の大山登山です。私は中学1年生の遥照登山では、登って30分も経っていないのに、足に限界が見られ、



途中で下山をしていたため、今回の大山登山は不安な気持ちがありました。どうせ下山してみんなに迷惑をかけてしまうのだろう、と心の中では大きな壁となっていました。ですが、先生方との相談の中で、みんなの前を歩かせてもらい、自分の負担は軽くなりました。山を登ってみると、後ろのときは違って、前の方がとても歩きやすかったです。途中でギ

ブアップすることを考えていましたが、園田先生や石田先生の激励のお言葉をいただいたので、一歩一歩を踏み出しました。弱音をプラスにかえて、という声もありました。そして、目標であった頂上に着くことができました。私自身がとてもないぐらいに驚き入りました。また、先生方の「登れたじゃん！」という言葉が嬉しくてなりません。下山するときも、あきらめず下りました。下りはすべすべすべと転んで、の繰り返しで、体操服は泥だらけになり大変でした。でも、転んだ時に、自然と「大丈夫？」や「頑張れ！」などといった励まし合いの言葉が口から出ていました。学園生の良い所は、こういうところから見られるんだな、と思いました。頂上は少し霧がかかり寒かったですが、あの景色はいつまでも私の中に残ると思います。今回の大山は成功して良かったです。それができたのは、先生方、学年の皆、家族、その他の方々のおかげだと感謝しています。

友達との距離も縮まった

4組 岡邊 こむぎ

5月23〜25日にかけて、山の学習があ



山の学習短歌コンクール

<p>【第一席】 秋本 匠斗 笑顔あり 余裕見せてる 四合目 下山無言で ひざだけ笑う</p> <p>【第二席】 谷本 果穂 ごほうびは 苦労の先に 待ち受ける 光る自然と 最上の空</p>	<p>【第一席】 日名記奈乃 テント泊 イモシシハ匹 寝ころがり 降る雨寒さに モゾモゾ動く</p> <p>【第二席】 石原 采佳 星見れず ふと虫さされ 見てみたら 足にできてた 大三角形</p>
---	---



2日目のキャンプでは、あいくの雨で、パーベキュー以外のキャンプ

2日目のキャンプでは、普段の生活にはあまりないからこそ、見つけられたことが多かったです。小さなことかもしれないですが、疲れていてもアメをなめたりするだけで、もつと歩けたり、涼しい風が吹くだけで、さつきまでたまっていた

周りの様子を見て行動する
5組 柵屋 希
新しいクラスでの初の行事。教育キャンプ。楽しみと不安が混ざっていた。でも、これをチャンスに新しい友達を増やしていこうと考えていた。

りました。この3日間で友達との距離も縮まり、自然についても学ぶことができたとおもいます。
まず1日目は、大山登山でした。バスから初めて見た大山は、私の想像より大きくて高く、「あの山に登るのか」と、一瞬不安になったのを覚えています。登るのは先生方がおっしゃっていたようにきつく、大変でしたが、時々見える景色を見ると「結構登ったんだな」と思っ

最後の3日目は、朝からびっくりしました。先生がラッパをふいていたからです。録音したのではなく、その場で吹いてくれて、気持ちよく起きられました。野外活動では、フラワーアレンジメントの体験をしました。教えてくださった先生はとてもおもしろくて優しい方でした。お茶の時間もあってよかったです。気がつくとき、これからやる行事よりも、終わっていた行事の方はほとんどでした。

るさが忘れてしまえたり、おどろくことがたくさんありました。そして、悪いことの中に良かったところを探することもできました。このことは、これからも忘れません。



探究

授業報告

中3探究

○パターンブロック

読解力、表現力、チームワークの育成を目的にグループで点数を競いました。いろいろなパターンに組まれたブロックを、チームメイトに文章で伝え、それをもとにブロックを組み立てていく内容です。他教科とは異なる内容に新鮮さを感じたようです。

○ストローク塔

発想力、発表力、チームワークを育成することを目的に、ストローク40本を使い斜塔を組み立て、最高100gまでのおもりに耐えられるかを競いました。生徒たちは、チームで話し合いながら、柔軟な発想力で様々な斜塔を製作し、コンセプトを発表し合いました。

○探究講演会

K・I・T虎ノ門大学院の三谷宏治先生をお招きして、「決める力と伝える力

の鍛え方」を教わりました。緊急状況において、何を取捨選択するのか、どのように優先順位を決めるのかという考え方を学ぶことができました。

高1探究

○プレゼミ活動

2クラスが3つのグループに分かれ、文系プレゼミでは「グローバルとは」「日本人にとって英語とは何か」「異文化理解のあり方を問う」「作文を批判的に読む」など様々な文系テーマに取り組みました。また、グループディスカッションにも挑戦しました。理系プレゼミでは数学で「基石取りゲーム他」、生物で「発芽率、幼芽の成長度合いに関する要因」、物理で「落下した物体がどの程度跳ね返るか?」についての実習に取り組みました。

○探究講演会

K・I・T虎ノ門大学院の三谷宏治先生をお招きして、「発想力」について教わりました。例題を交えながら「今までに教えてもらっている知識、常識にとらわれると新たに発想することをしなくなる」とや「日本人は座って悩む習慣がある。まず動くことから始めよう」とい

たお話をしてくださり、多くの気づきがありました。

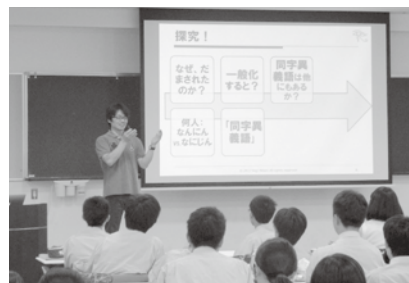
高2探究

○探究Ⅱ

文系は教育ゼミ、日本語・日本文学ゼミ、現代社会ゼミ、世界文化ゼミの4つのゼミで研究を進めました。ゼミによっては、校外で専門家の貴重なアドバイスを頂いたり、資料を求めて県立図書館に出張したりしました。

理系は数学ゼミ、天文ゼミ、物理ゼミ、化学ゼミ、生物ゼミの5つのゼミでグループ研究または個人研究に取り組みました。

2学期はポスターやパワーポイントでの発表会があり、後半は研究論文にまとめていきます。



平成29年度 やつなみ保護者会 地区会

No.	地区	日時	会場	出席教員
1	岡山以东	7/8(土)14:00~16:00	岡山県生涯教育センター ミーティング室1・2・3 (情報創作棟2F)	小畑 成田 吉森 岡崎
2	倉敷第1	7/8(土)18:30~20:30	ライフパーク倉敷第3会議室	垣内 戸田 小郷 戸削
3	倉敷第2	6/24(土)14:00~16:00	倉敷市民会館第4会議室	原田 内田 妹尾 天野 佐藤正
4	倉敷第3	7/15(土)14:00~16:00	倉敷市民会館第3会議室	藤井 守分 小橋 土井
5	玉島東	7/2(日)10:00~12:00	玉島市民交流センター 第1会議室	宰相裕 水野 堤 亀田
6	玉島西 黒崎	7/2(日)10:00~12:00	玉島市民交流センター 第3会議室	平田 東山 岡辺
7	富田 長尾 船穂 真備	7/1(土)19:00~21:00	玉島市民交流センター 第4会議室	服部 平川 鶴井
8	竹 八重 占見 占見新田 地頭下	7/15(土)13:30~15:30	ほつま記念ホール (中ホール)	小野 有馬 鳥越
9	大 谷	7/7(金)19:00~20:30	大谷消防機庫 2F	山本澄 北川
10	須惠 佐方	7/1(土)18:30~20:00	佐方コミュニティーハウス	定金 松田
11	鴨 方	7/14(金)19:00~20:30	浅口市健康福祉セン ター3F	吉永 高田
12	六条院	7/7(金)19:00~21:00	浅口市中央公民館第3和室	山本幸 志手
13	寄 島	7/14(金)19:00~20:30	浅口市ふれあい交流館 サンパレア	籠崎 園田
14	里 庄	7/15(土)17:00~18:30	里庄町図書館	宰相夕 佐藤径 高司
15	笠岡東	7/1(土)19:00~20:30	サンライフ笠岡	森下 瀬戸
16	笠岡西	7/15(土)19:00~21:00	笠岡中央ふれあい会館	平岡 亀山
17	笠岡北	7/18(火)19:00~21:00	北川公民館	水岡 長谷川 平賀
18	井 原	7/1(土)18:30~20:30	アクティブライフ井原	中村 久保田 森谷
19	福山第一	7/14(金)19:00~21:00	福山市生涯学習プラザ (ローズコム内)	坂口 藤原 石田
20	福山第二	7/9(日)19:00~21:00	福山市市民参画センター	谷野 田中 小松原 城戸
21	福山第三	7/14(金)19:00~21:00	福山市生涯学習プラザ (ローズコム内)	山下 友田 細川
22	福山第四A	7/1(土)19:00~21:00	緑丘公民館	岡田 佐藤洋 久繁 松嶋
23	福山第四B	7/17(月)10:00~11:30	緑丘公民館	西山 内村 土谷
24	福山第五	7/9(日)10:00~12:00	福山北部市民センター (第1学習室)	安田 久野 角南
25	松 永	7/9(日)13:30~15:30	松永公民館第2会議室 (西部市民センター内)	新谷 山路
26	尾道・三原以西	7/7(金)19:00~21:00	テアトロ・シェルネ	中島 大西
27	止 宿	アンケートにより個別に相談	個別に相談	石井 井上

高3人権講演
「私の歩んだ道」
「見えないから見えたもの」
元岡山盲学校教頭 竹内 昌彦先生



もつと努力できることがある

1組 若狭 ひとみ

竹内先生の人権講演はとても心が打たれました。そして演題でもある「見えないから見えたもの」という意味がちゃんと理解できたと思っています。「見えないから見えたもの」とは、人の外見で判断せずその人の心を見つめて接したり、人に優しくすることがどれだけ大切であるか、また生きることが幸せなことであることなどです。先生は目が見えないにもかかわらず、何にでも挑戦したり、一生懸命勉強や努力をして今まで過ごされてきました。そんな先生の姿に、ちゃんと目が見えている私はもつと努力できることがあると今の自分が情けなく思いました。先生の話聞きながら思わず泣いてしまいました。そのタイミングで竹内先生の話聞くことができて良い経験になりました。本当にありがとうございます。

感謝して生きたい

2組 藤沢 翔太

今日の講演を聞いて、障がい者は生活

が不便であるという先入観は捨てるべきだと分かった。昔は今と比べれば人権について深く考えられていなかったのについて思いをしてでも親を悲しませないよう生きてきたことに對して感動した。竹内さんはいい親、いい先生、いい仲間達に恵まれて生きてきた話されていたが本当にそうだと思った。人間だれしも一人で生まれてきて一人で生きてきた人なんていないし、支え合って生きていくから「人」なんだと思う。だから、もつと自分の身のまわりの人達に感謝して生きたいと思う。

ニコニコの笑顔

3組 畠山 優子

私はこんなにも幸せそうにニコニコしながら何でも話す人を見たのははじめてです。いろいろ話を聞いていると私には考えられないほど辛い出来事があったのに今はその出来事を乗り越えて、ニコニコして笑顔で話している竹内さんがすごくキラキラ見えて尊敬しました。私も今日話をしてくださった竹内さんのように心の優しく周りに人が集まってくるような人として立派な人になろうと思いました。

全力でやるのが大事

4組 赤城 圭佑

講演を聞いてどんなに嫌なことでも全力でやれば絶対に良いことがあるんだと改めて感じました。自分も厳しい練習や嫌な勉強からよく逃げたり手を抜いてしまったりしていたのですが、どうせしないといけないのなら、全力でしたほうが良いと思っただけ、手を抜いても何も起きないなと改めて感じました。竹内先生は、目が見えなくなったり、いじめられたり、息子さんを亡くされたりと不幸で辛いことは多いけど、乗り越えて数々の幸せや笑顔を自分のものにして本当にすごい人だと思いました。目が不自由で普段は人に助けってもらう立場の人だと思っただけ、逆に人を喜ばせたり人を助けたり、人の気持ちを動かしたりできるというのは本当にすごいことです。自分も竹内先生のように他の人を笑わせたり心を動かせる人間になりたいと思います。

日々の生活に感謝

5組 渡辺 寛人

僕も事故の後、お母さんと何度も話し合いをしました。今自由に立って歩ける

だけでもとてもありがたいと思っています。お母さんが教えてくれましたが、よくても車いすで退院、最悪植物人間と診断されたそうです。竹内さんは僕の何倍も重い障がいはずっと持たれていて本当に苦労されたんだらうなと思いました。僕も自由に動けることに感謝して日々の生活を送りたいです。

人の命を化学で助けた

6組 岡 優真

僕も昔いじめにあつていて、自分の運命を呪いたいと思ったことが何度もあります。自暴自棄になり、何も考えられなくなりました。日々進歩している科学技術に僕は魅了されました。体も心も大きくなるにつれ、僕は人の命を化学で助けたいと思うようになりました。駅で人が倒れているのを二度目にすることがあります。二度とも僕はAEDを取りに行きました。「あの高校生は凄いな」と言われた時の喜びはいじめられていたことを忘れさせてくれました。僕は目が見え耳も聞こえます。今日の講演を聞いて、まだまだ進化していく化学に乗っかり、

薬剤師として頑張つて行こうと思いましたが。

心に響いた

7組 太田 綾

竹内先生のお話は小学生の時に聞いていて障がいのある方がどれだけ大変なのかは分かっていたけれど、改めてお話を聞くと、小学生のころには何も思わなかったことが今になると心に響くことが多く涙を流してしまいました。

私が今回の話で一番心に残ったことは、人を見た目で判断しないということ。もちろん、竹内先生の両親は子供を見捨てないというお話にもぐっと来ましたが、見た目で判断しないところは自分にもあてはまっているので、見た目で判断せずその人ときちんと接してみてもか判断するべきだと思いました。また障がいのある方もない人も物事に慣れるのには時間がかかるので、「慣れるまでわかるまで、心のゆとりを持って」という言葉も大切にしたいです。

ある日のホームルーム



中学1年3組

5月26日6限のホームルームは3組の元気の良い挨拶で始まった。今日のホームルームは4月の人権教育で学んだSNSの便利さと恐さを受けて、学園の仲間同士でどう関係づくりをしていくか考え、自分の行動目標を決める目的がある。まず担任の久野先生が「1ヵ月点検シート」を配布する。生徒は、クラスメートについてどれだけ知っているか、相談できる友達はいるか、クラスへの貢献度はどうか、などの質問に答えていく。クラスという小さな社会にどれだけなじんでいるか、また仲間意識はあるかというものがわかる。

班ごとに発表していくと、仲間意識が班によって違う。ここで全員にめい想をしてもらおう。久野先生が質問を投げかける。「クラスメート全員の顔と名前が浮

かびますか」さらに言葉を重ねる。「きっと浮かんだ人と浮かばない人がいますね。そこで今年の1年間はクラスメートのことを知る努力をしてください」この質問には先生の意図があった。それは社会に出るにあたって、今のうちから人間関係を築く努力をしてほしいというものだった。気の合う人とそうでない人がいる中で、どう関係づくりをしていくか練習する場が学校だ。そのことをふまえて社会で周りと共存していくことを生徒に考えさせたのだ。

班によっては、クラスが一致団結しているかの感じ方に温度差があった。そこで先生は言葉が続ける。今は集まっただけのこの集団。1年間で、見ることに「尊重すること」「お願いを頼める関係」がある「仲間」になっていこうと呼びかけ



大きく記された。その宣言文は「クラスを笑顔にする」「団結力全世界No.1」「人に感謝する 人に感謝される」など様々だ。
最後に、自ら決めた「行動宣言」を1年生らしく大きな声でクラスに告げた。普段から相手を知らうと意識することがコミュニケーションをとる上で大切だとわかり、最高のクラスになるための指針を持つるホームルームとなったようだ。3組は終わりの挨拶も元気がよく、その後のクラスのみんなの笑顔が印象深かった。

た。

学校外で扱われるSNSは関係が安易に築けていると思いがちになりトラブルが多くなる。言葉のニュアンスが通じにくいLINEの恐さを改めて生徒に伝え、直接会ったり、直接電話したりすると、コミュニケーションの大切さを訴える。クラスはシーンと静まり、考える様子が見えなくなった。顔が直接見えないSNSの使い方を考え、普段の生活で表情の分かるコミュニケーションの取り方を意識して生活する、まずはお互いを知ることから始まる。

生徒たちは真剣に話を聞き、1年後のクラスを今よりもっとすばらしいクラスにできるか、自分たちがクラスにいかに関与できるかを考え始めた。それぞれの考えは配布された「行動宣言」の用紙に

表紙の言葉

中2 田中 宏樹

僕は「古池や蛙飛び込む水の音」という俳句を版画にしました。

目を閉じた少年が、古池にカエルが飛びこむ音を聞こうとしている状態です。音を聞こうとしている少年よりもカエルを大きく真ん中に目立つように彫りました。カエルは日常の中であまりじつと見ることがないので、絵を描くのが大変でした。また、色塗りがカエルらしさが出るように工夫するのが難しかったです。

少年は、カエルが飛びこむ音を聞こうとして目を閉じています。僕はカエルをよく見かけますが、しゃがんで真剣に、版画の少年のように聞いたことはありません。

この版画を彫るにあたって、この少年のように何事にも真剣に取り組もうと思いました。

オープンスクールPART I
一日入学のお知らせ

日時 平成29年7月30日(日) 8:40～12:00

場所 金光学園中学・高等学校

対象 小学校5・6年生と保護者の方
 中学1・2・3年生と保護者の方

※4歳から小学4年生まで参加できるコーナーもあります。

内容 授業体験(小学生・中学生)

学校説明会

国際化教育体験発表(中学生・小中保護者)

部活動体験 その他

*一日入学スケジュール				
	小学生対象	4歳～小4対象	中学生対象	
8:40～	受付(ほつま体育館下)			
9:10～9:20	オープニングセレモニー(ほつま体育館)			
9:20～9:40	オリエンテーション			
9:55～10:45	楽しい授業体験	学校説明会①(保護者対象) 国際化教育体験発表	チャレンジコーナー	授業体験 学校説明会①(生徒・保護者対象) 国際化教育体験発表
11:00～12:00	部活動体験 チャレンジ	学校説明会②(保護者対象) 国際化教育体験発表	キッズプレイコーナー	部活動体験 学校説明会②(生徒・保護者対象) 国際化教育体験発表
12:00～	個別相談コーナー(希望者のみ) 食堂体験(希望者のみ、当日食堂を利用できます)			

*PTAによる、お茶サービスや「なんでも相談コーナー」もあります。

[授業体験] 9:55～10:45 チャレンジコーナーとキッズプレイコーナーのみ 9:55～12:00

教科	内容「タイトル」	対象
A 国語	百人一首大会～平安時代へタイムスリップ!?～	小5～6年
B 社会	目で感じる日本の歴史	小5～6年
C 数学	謎解きは金光学園で!!	小5～6年
D 理科	オットピックリ!オトのふしぎ	小5～6年
E 英語	Let's have fun in English!	小5～6年
F 技術	パソコンで作ろう!～楽しい電中見舞い!～	小5～6年
G 美術	マスキングテープで作るポストカード	小5～6年
H 体育	Let's play tee ball!	小5～6年
I チャレンジコーナー	楽しい工作にチャレンジ(途中退場できます)	小1～4年
J キッズプレイコーナー	みんなで楽しく遊びましょう(途中退場できます)(お絵かきやふうせん遊びなどで、楽しく遊びます)	4歳～小2年

*教科によっては定員に限りがあります。先着順で定員になり次第、第2希望とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

[部活動体験] 11:00～12:00

①新聞部 ②天文部 ③生物部(小学生のみ)
 ④電気科学部(小学生のみ) ⑤書道部 ⑥茶道部 ⑦音楽部吹奏楽団 ⑧音楽部コーラス
 ⑨放送部 ⑩科学部(小学生のみ) ⑪美術部
 ⑫ラグビー部(中学生のみ) ⑬ソフトテニス部 ⑭卓球部 ⑮野球部 ⑯サッカー部(小学生のみ) ⑰柔道部 ⑱剣道部 ⑲バスケットボール部 ⑳バレーボール部 ㉑少林寺拳法部 ㉒ダンス部(小学生のみ) ㉓陸上競技部

*小学5・6年生と中学生が対象です。
 *運動部は運動ができる服装でお越しください。(例:野球は長ズボン)授業後の着替え場所はあります。
 *道具類=野球部は帽子・グローブ・スパイク・ユニフォームもあればご持参ください。卓球・バスケットボール・バレーボール・ダンスは、体育館シューズをご持参ください。テニス・卓球はラケット、サッカーはスパイク、剣道は剣道用具等をお持ちでしたらご持参ください。
 書道は道具一式・紙をご持参ください。
 *屋外スポーツは雨天の場合実施できないことがあります。また、上記以外の部活動は都合により出来ません。

【学校・入試説明会】

月日	会場	内容及び時間帯	申込
5月27日(出)	倉敷 ライフパーク(中ホール)	学校説明会(14:00～16:00)	不要
6月3日(出)	福山 県民文化センター(文化交流室)		
6月10日(出)	井原 地場産業振興センター(経営研修室)		
6月17日(出)	岡山 ピュアリティまきび(中会議室)		
6月24日(出)	金光学園(授業公開)	授業公開(8:45～自由参観) 学校説明会(10:00～12:00)	不要
7月30日(日)	金光学園	オープンスクール PART I 「一日入学」下記参照	必要
9月16日(出)	倉敷 ライフパーク(中ホール)	入試説明会(14:00～16:00) (個別相談会)	不要
9月30日(出)	福山 県民文化センター(文化交流室)		
10月7日(出)	岡山 ピュアリティまきび(中会議室)		
10月7日(出)	井原 地場産業振興センター(経営研修室)		
10月21日(出)	金光学園 ※地域会場(模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター福山	中学入試模擬テスト(9:00～12:30) 中学入試説明会(13:30～15:00) 個別相談会(15:00～16:00)	必要 不要 不要
11月3日(金)	金光学園 ※地域会場(模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター福山	高校入試模擬テスト(9:00～12:45) 高校入試説明会(13:30～15:00) 個別相談会(15:00～16:00)	必要 不要 不要
11月11日(出)	金光学園	入試説明・相談会(14:00～16:00)	不要

【オープンスクール PART I・II・III】

対象	行事	日時	場所	内容	申込
小中	PART I 一日入学	7月30日(日) 8:40～12:00	金光学園	授業・部活動体験 学校・入試説明会 探究クラス研究発表 個別相談会	必要
小中	PART II 文化祭見学	9月9・10日(土・日) 10:00～14:00	金光学園	見学とスタンプラリー 個別相談会	不要
小	PART III 中学体育会見学	10月1日(土) ※雨天順延 9:00～15:00	金光学園 グラウンド	参加種目もあります	不要

詳細は金光学園ホームページをご覧ください。

H30(2018)年度の中・高校募集用の「学校案内」ができています。
 自由に配布できるように用意しています。ご協力いただける方は、
 ご連絡ください。

HPにも掲載していますので、ご覧下さい。

<http://www.konkougakuen.net>



以上 よろしくお願いたします。

貸借対照表

平成29年3月31日

資産の部		負債の部	
科 目	本年度末	科 目	本年度末
固定資産	2,354,585,986	固定負債	629,820,420
有形固定資産	2,253,967,464	流動負債	195,472,458
特定資産	100,000,000	負債の部合計	825,292,878
その他の固定資産	618,522	純資産の部	
流動資産	99,651,931	基本金	3,360,542,442
資産の部合計	2,454,237,917	繰越収支差額	△1,731,597,403
		純資産の部合計	1,628,945,039
		負債及び純資産の部合計	2,454,237,917

平成28年度決算の概要

学校法人金光学園

平成28年度の決算が、5月29日に開かれた法人評議員会ならびに理事会で承認されました。
 学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「事業活動収支計算書」、財産状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4号に定められた規則に基づき作成したものが、以下の「財務三表」です。

資金収支計算書

収入の部		支出の部	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
学生生徒等納付金収入	576,256,320	人件費支出	935,855,930
手数料収入	4,360,700	教育研究経費支出	101,068,878
寄付金収入	49,844,600	管理経費支出	43,182,753
補助金収入	414,995,804	借入金等利息支出	2,776,826
付随事業・収益事業収入	1,524,081	借入金等返済支出	416,480,000
受取利息・配当金収入	657,958	施設関係支出	82,875,000
雑収入	53,783,207	設備関係支出	15,953,049
借入金等収入	380,000,000	資産運用支出	40,476,619
前受金収入	43,940,000	その他の支出	52,088,586
その他の収入	210,283,337		
資金収入調整勘定	△51,585,260	資金支出調整勘定	△7,092,469
前年度繰越支払資金	51,873,476	翌年度繰越支払資金	52,269,051
収入の部合計	1,735,934,223	支出の部合計	1,735,934,223

平成28年度 収支決算

金光学園やつなみ保護者会

I. 一般会計

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	決算額	差 異
1 会 費	5,614,800	5,602,500	12,300
2 繰越金	1,009,076	1,009,076	0
3 寄付金	20,000	20,000	0
4 雑収入	140,000	68,305	71,695
合 計	6,783,876	6,699,881	83,995

支出の部		摘要	
科 目	予算額	決算額	差 異
1 指導部費	605,000	532,616	72,384
A 地区会費	400,000	329,616	70,384
B 生活指導費	5,000	3,000	2,000
C 通信連絡費	200,000	200,000	0
2 教養部費	3,450,000	3,361,757	88,243
A 機関誌費	2,750,000	2,749,680	320
B 教養費	700,000	612,077	87,923
(1) 研修費	340,000	269,477	70,523
(2) 教養費	255,000	237,600	17,400
(3) 講習会費	105,000	105,000	0
3 庶務部費	2,265,400	1,498,646	766,754
A 負担金	430,000	379,610	50,390
B 名簿刊行費	275,400	275,400	0
C 慶弔費	500,000	256,600	243,400
D 会議費	210,000	154,456	55,544
E 旅費	150,000	53,970	96,030
F 事務費	150,000	95,195	54,805
G 特別委員会費	450,000	225,043	224,957
H 雑費	100,000	58,372	41,628
4 予備費	463,476	0	463,476
合 計	6,783,876	5,393,019	1,390,857

1. 一般会計	
収入総額	6,699,881
支出総額	5,393,019
差引剰余金	1,306,862

◎剰余金処分 一般会計剰余金1,306,862円は、次年度一般会計に繰り越す。

事業活動収支計算書

(単位：千円)

科 目		決 算 額	科 目		決 算 額
教育活動収入の部	事業活動収入の部	576,256,320	教育活動支出の部	人件費	950,582,765
	学生生徒等納付金	576,256,320		教育研究経費	175,167,604
	手数料	4,360,700		管理経費	45,479,387
	寄付金	49,973,708			
	經常費等補助金	414,995,804			
	付随事業収入	1,524,081			
教育活動収入計	雑収入	53,783,207	教育活動支出計	1,171,229,756	
	教育活動収入計	1,100,893,820	教育活動収支差額	△70,335,936	
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	657,958	教育活動外支出の部	借入金等利息	2,776,826
	教育活動外収入計	657,958		教育活動外支出計	2,776,826
	教育活動外収入計	657,958		教育活動外収支差額	△2,118,868
經常収支差額			經常収支差額		△72,454,804
特別収支の部	資産処分差額		特別支出の部	特別支出計	1,384,924
	特別収支差額	△1,384,924			
〔予 備 費〕					
基本金組入前当年度収支差額			基本金組入前当年度収支差額		△73,839,728
基本金組入額合計			基本金組入額合計		△49,494,530
当年度収支差額			当年度収支差額		△123,334,258
前年度繰越収支差額			前年度繰越収支差額		△1,608,263,145
翌年度繰越収支差額			翌年度繰越収支差額		△1,731,597,403
(参考)					
事業活動収入計			事業活動収入計		1,101,551,778
事業活動支出計			事業活動支出計		1,175,391,506

平成29年度 予算

金光学園やつなみ保護者会

I. 一般会計

(単位：円)

収入の部	科目	H29予算額	H28予算額	H28決算額	摘要
1	会費	5,459,400	5,614,800	5,602,500	月額 P@350、T@400
2	繰越金	1,306,862	1,009,076	1,009,076	
3	寄付金	20,000	20,000	20,000	大祭直会
4	雑収入	140,000	140,000	68,305	預金利息、やつなみ増刷補助、笠岡補導センター補助、他
合計		6,926,262	6,783,876	6,699,881	

支出の部

支出の部	科目	H29予算額	H28予算額	H28決算額	摘要
1	指導部費	605,000	605,000	532,616	
A	地区会費	400,000	400,000	329,616	27地区
B	生活指導費	5,000	5,000	3,000	広域補導
C	通信連絡費	200,000	200,000	200,000	家庭連絡電話料
2	教養部費	3,575,000	3,450,000	3,361,757	
A	機関誌費	2,800,000	2,750,000	2,749,680	やつなみ248号～250号
B	教養費	775,000	700,000	612,077	
(1)	研修費	400,000	340,000	269,477	総会講演、研修旅行、他
(2)	教養費	255,000	255,000	237,600	教養シリーズ
(3)	講習会費	120,000	105,000	105,000	やつなみサークル補助
3	庶務部費	2,265,400	2,265,400	1,498,646	
A	負担金	430,000	430,000	379,610	私中高父母の会負担金、他
B	名簿刊行費	275,400	275,400	275,400	学園名簿
C	慶弔費	500,000	500,000	256,600	卒業式、弔慰、饗別
D	会議費	210,000	210,000	154,456	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E	旅費	150,000	150,000	53,970	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F	事務費	150,000	150,000	95,195	諸消耗品代等
G	特別委員会費	450,000	450,000	225,043	全国・中国地区私中高父母の会等
H	雑費	100,000	100,000	58,372	文化祭プログラム・ポスター、他
4	予備費	480,862	463,476	0	
合計		6,926,262	6,783,876	5,393,019	

II. 特別会計

(単位：円)

収入の部	科目	H29予算額	H28予算額	H28決算額	摘要
1	特別会費	9,087,000	9,375,600	9,348,300	月額 @650
2	繰越金	2,042,994	1,075,174	1,075,174	
3	雑収入	0	0	0	
合計		11,129,994	10,450,774	10,423,474	

支出の部

支出の部	科目	H29予算額	H28予算額	H28決算額	摘要
1	教育後援費	11,129,994	10,450,774	8,380,480	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助、事業積立金会計への積立等

III. 事業積立会計

(単位：円)

収入の部	科目	H29予算額	H28予算額	H28決算額	摘要
1	積立金	2,500,000	0	0	特別会計より
2	繰越金	0	0	0	
合計		2,500,000	0	0	

II. 特別会計

(単位：円)

収入の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
1	特別会費	9,375,600	9,348,300	27,300	月額 P@650
2	繰越金	1,075,174	1,075,174	0	
3	雑収入	0	0	0	
合計		10,450,774	10,423,474	27,300	

支出の部

支出の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
1	教育後援費	10,450,774	8,380,480	2,070,294	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助等

【教育後援費の内訳】

①H26年度生徒会派遣費補助不足分返金	2,248,823円
②日本スポーツ振興センター共済掛金	1,214,820円
③熊本地震義援金	50,000円
④高P連賠償責任補償制度加入掛金	361,200円
⑤私学ボランティア基金会費	13,220円
⑥私学ボランティア基金特別会費	10,000円
⑦高校図書室コインコピー機リース料	12,312円
⑧7/20高校野球応援バス代	63,550円
⑨メールメイトシステム利用料(29年度分)	136,080円
⑩生徒会派遣費補助	4,270,475円
	8,380,480円

2. 特別会計

収入総額	10,423,474円
支出総額	8,380,480円
差引剰余金	2,042,994円

◎剰余金処分 特別会計剰余金2,042,994円は、次年度特別会計に繰り越す。

III. 事業積立会計

(単位：円)

収入の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
1	積立金	0	0	0	
2	繰越金	0	0	0	
合計		0	0	0	

支出の部

支出の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
1	事業費	0	0	0	

2. 特別会計

収入総額	0円
支出総額	0円
差引剰余金	0円

◎剰余金処分 事業積立会計剰余金0円は、次年度事業積立会計に繰り越す。

生徒会活動

《中学生徒会》

4月27日に新入生歓迎会をほつま体育館で開催した。1年は新入生あいさつと呼びかけて元気に入学後の決意を示した。2年は劇と歌でエールを1年生に送った。3年は行事を紹介する演出で歓迎最後に『キセキ』を歌った。恒例の部活動紹介では各部の工夫を凝らした勧誘に1年生は楽しみながら関心を寄せていた。

5月8・9日の一日入部では、1年生は各部を回り、多くの者が入部し、元気に活動している。5月は委員会活動や部活動委員会が開始し、今年度の活動方針や予算を作成した。事務局では総会に向けてクラス討議資料を作成し、評議員会に提出した。

各クラスで活発な討議が行われ、それをもとに各種委員会でも議論された。また、ほつま祭や体育会の実行委員会が発足された。

6月6日には生徒会総会が開かれた。今年度のスローガンは『Best day×Best way』。「私たち生徒会が中心となって最

高の道を切り開き歩めるように導き、皆さんが最も充実した日々を過ごしていただきたい」という思いが込められています。このスローガンのもと一人一人が

様々な場面で活躍し、友情や信頼関係を築き、楽しめる学園生活を目指して頑張っていきたいと思います。」と会長の笠原さんから説明され、基本方針と共に承認された。今年度の活動計画・予算・昨年度の決算が説明の後に承認された。準備・運営など評議員や事務局の動きは頼もしかった。委員会でも積極的な活動を始めた。評議員会では障害者の福祉活動へ支援のため「愛の募金」に取り組んだ。保健委員会は虫歯予防ボスターの作成、生活委員会では登下校のマナー問題に取り組み、図書委員会では本の紹介の通信発行や読書の呼びかけなどを行った。学習委員会では、全校漢字テストを第1回は6月19日に実施され、平均点98・7点の3年1組が第1位になった。

6月13日に夏季球技大会が行われた。みんな元気に声を掛け合い、それぞれのコートで熱戦を繰り広げた。総合優勝は、1年は2組と4組、2年は5組、3年は1組と4組が勝ち取った。クラスの団

《茶道部》

3月19日(日)に玉島市民交流センターで玉島高校茶道部と合同で「交流ひな茶会」を行った。多くのお客さんに来ていただき、緊張しながらも日頃の練習の成果を発揮した。4月には5人の中1新入部員が加わり、熱心に活動している。

《中・高書道部》

中学12名、高校10名の計22名で活動している。第34回ふれあい書道展において高1坂口小枝が特選を受賞した。第33回成田山全国競書大会において高1坂口小枝が推薦日輪賞を、高2中塚心愛が特選月輪賞を受賞した。5月には笠岡の岸本邸古民家再生プロジェクト「ガーデンパーティー」において書道パフォーマンス「かな文字かきつばた」を実施した。6月には福山イトヨーカ堂で行われた熊本震災復興チャリティー「絆：inふくやま」に参加し、書道パフォーマンス「命は美しい」を実施した。

《音楽部吹奏楽団》

4月8日(金)は入学式にて、「You Raise Me Up」「GUTS!」などを演奏した。4月16日(日)はたんぼぼまつりに出演し、「ふるさと」「カーペンター

結や親睦も深まり、楽しく充実した一日となった。

《高校生徒会》

4月15日(土)、生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に2年2組の小出捷稀くんが、副会長に2年1組の清水美沙さん、2年2組の甲斐准輝くんがそれぞれ承認された。4月20日(木)には、晴天の下、高校3年生、2年生の春季球技大会が開催された。ソフトボール、ドッジボール、フットサル、ティーパールの4種目でそれぞれ熱戦が繰り広げられ、3年2組、2年6組が総合優勝を果たした。

5月26日(金)、第一回生徒会総会が行われた。今年度の基本方針や予算について審議され、すべて原案通りに承認された。運営は円滑に進み、舞台で発言した執行部、各種専門委員長、学年代表者会議議長らはいずれも堂々とした態度で発表を行った。その他、9月に開催されるほつま祭や体育会に向けて、各クラスや実行委員会等で着々と準備が始まっている。

《新聞部》

現在中1新入部員2名を含む7名で活動している。4月に新任の先生紹介、5月に教育実習生紹介、一日入部の様子な

どを新聞にして発行した。また、山陽新聞「まなびバ」の学校紹介新聞の作成に協力した。

《天文部》

中学1年生14名を加えて、部員47名で活動している。今年度も毎週金曜日を中心に活動している。夜間観測できれないな天体写真を撮るために、望遠鏡やカメラの使い方を練習している。

4月、天文部のOB会である「酔星会」を開催し、顧問も含め、計24名の参加があった。天文部OBで、国立天文台ハワイ観測所助教である沖田博文氏にすばる望遠鏡の最新情報について記念講演をしてもらった。酔星会の中でも話題に上り、現在の活動状況も考慮した上で、現役部員やOBの合意の下、今年度から部の名称を天文気象部から天文部に改名にすることにした。

5月、夜間観測を行い、月や木星、土星の観測を行った。

6月の夜間観測は、中1の新入部員にとっては初めての観測であったが、望遠鏡の基本操作やカメラの使い方を学んだり、星座についての学習をしたり、月や木星に望遠鏡を合わせて観測を行ったりした。

ズ・フォーエヴァー」「YMCA」等を演奏した。4月29日(土)のやつなみ保護者総会では「shake」「ふると」と「星条旗よ永遠なれ」を演奏した。5月5日(こどもの日)の第45回定期演奏会では倉敷市民会館で行い、「遙か」「ハリウッド万歳」「Under tow」「BACKSTAGE PASS」「乾杯」「勝利への賛歌」等、約15曲を演奏した。6月3日(土)は岡山シンフォニーホールにて吹奏学祭に出演し、「Don Quixote」を演奏した。6月10日(土)の金光ミュージックフェスタでは「SORAN」「神人の栄光」等を演奏した。翌日の14日(日)独立記念祭では「今日今日で一心にたのめ」「神人の栄光」「SORAN」を演奏した。6月18日(日)は浅口音楽フェスティバルに出演し、「YMCA」「勇気100%」「ふるさと」を演奏した。

《音楽部コーラス》

第10回声楽アンサンブルコンテスト全国大会に出場するにあたり、3月15日から18日にかけて中学生16名が福島県に遠征した。16日は震災学習として相馬市を訪問した。実際に津波にのまれながらも、九死に一生を得た語り部の方から話を聞

いたり、町の復興の様子を見て回った。途中、合唱曲「群青」の作曲者である小田美樹先生の勤務されている中学校を訪問し、当時のお話を聞かせて頂き、実際に「群青」の指導もしていただいた。夕方、金光教福鳥教会にも訪問させていただき、震災で被害にあわれた方へ祈りをささげた。16日は全国大会本番。曲目「涙」「雨のあと」「あわ雪」。全国の強豪校の前に実力を存分に出しきったが、賞には届かなかった。

3月25日に鴨方の少年少女合唱団「わくどき」と交流会をした。歌や踊りを一緒にして、とても楽しい時間を過ごせた。

4月16日に金光公民館で開催されたたんぼまつりに参加した。午前中はあいサポートの講習を受けた。午後はステージ発表で曲目「Ingress」「メリーポピンス」「群青」。中3が修学旅行でいない中ではあったが、精一杯歌うことができた。

5月29日にやつなみ保護者会総会の講演会があり、講演者の弓削田健介氏が作曲、編曲した3曲を披露した。最後は弓削田氏とコラボもでき、とても良い経験となった。

5月27日に校内で保護者会を開いた。

多くの保護者の参加があり、コンサートに向けて力をいただいた。

6月3日に高梁総合文化会館で岡山県高等学校合唱祭が開催された。曲目「群青」「OLA」。合同曲「君が君に歌う歌」「前へ」。中1の初ステージはみんなとても良い表情であった。

6月18日に里庄総合文化ホールで第27回浅口音楽フェスティバルが開催された。曲目「メリーポピンス」「どこまでもHow Far I'll Go」「Wake up」。

《写真部》

ほつま祭での展示に向け、鋭意撮影に励んでいる。今年のほつま祭も乞うご期待！

《中放送部》

新入部員が7名入部した。新入生歓迎会・球技大会の司会アナウンスを行った。6月17日(日)に岡山市立中央公民館で行われた第34回NHK杯全国中学校放送コンテスト岡山県予選会のアナウンス部門に、中3土肥幸実・阿部七菜子が出場し、朗読部門に中2岡邊こむぎ・中山愛梨が出場し、善戦した。また、一日入学のオープニングで放映される学校案内の作成を行った。

《高放送部》

4月16日(日)市民会館金光にて、第20回たんぼまつりが開催された。放送部から2年岡本圭織が司会の仕事を務めた。6月11日(日)に就実高校で行われた第54回岡山県高等学校放送コンテスト兼第64回NHK杯全国高校放送コンテスト岡山県予選に、新入部員である高1の2名が出場した。朗読部門に内村彩乃が、アナウンス部に山本幸歩が出場し、善戦した。

《囲碁将棋部》

5月4日、山陽新聞社で開催された岡山県高等学校将棋選手権大会において、男子個人戦Aグループに出場した原田理司(高3)がベスト8になった。同大会には、他に有富大智(高3)も男子個人戦Aグループに出場した。また、6月24日、倉敷工業高校で開催された第30回岡山県高等学校竜王戦に、原田と有富が出場し、原田がベスト4に入り、大健闘した。

《軽音楽部》

部員は現在23名。活動形態は週1回各バンドで練習している。ほつま祭を目指して練習中。

《中高美術部》

中学では1年生2名の入部があり、2

年生4名、3年生2名の計8名で活動している。ほつま祭に向けて立体作品に取り組んでいる。

高校では高校生美術コンクールに1年生2名、2年生1名が参加し、2年の細川末希さんが銀賞に入った。また、ほつま祭に向けても頑張っている。

《芸芸部》

新入部員2名(2年生1名、1年生1名)を迎え、総勢10名で活動をスタートした。水曜日を定例の活動日に設定し、執筆に励んでいる。4月には月例集「はじまりの歌」、5月には「緑萌ゆ」を制作し、それぞれ批評会を行った。これらの作品は、今年度から中高の図書室で配布することにしたので、広く皆さんに読んでいただきたい。その他に恩田陸「蜜蜂と遠雷」を題材に読書会を実施した。

《英語部》

部員は現在、高校2年生1名と高校1年生3名。コミュニケーションの一手段として英語を使える力を身に付けることを目標に活動している。1学期の活動形態は週2回のグループ練習。毎回30分のレッスンの中で、英語の自然な音声やイントネーション、強勢やリズムを習得で

きるように訓練した。

《科学部》

4月には、葉脈標本のしおりを作成し、新入生へのプレゼントとした。新入部員を迎え、毎週水・金曜日を中心に活動している。現在は、7月に行われる科学の祭典のための練習や、夏合宿に向けての調査などを行っている。また、興味を持った事象に関して、様々な実験も行っている。

《電気科学部》

新入部員を迎え、9月の「仁科ロボコン」に向けて、ロボットの設計・作成に入ろうとしている。また、ほつま祭での展示、中学生は11月に行われる「創造アイデアロボットコンテスト」への参加もあり、忙しくなる2学期に向けて準備を始めた。

《木綿崎ボランティア部》

高一が1名、高二が6名、高三が2名の計9名で活動している。3月には岡山AMD本部にて南海トラフの勉強会を行った。4月は浅口市たんぼまつりに参加。6月にはほつま祭に向けて小物作りを行った。巾着やブックカバーを作成し、東日本震災みやぎ子ども育英募金に募金する。6月に福山イトーヨーカ堂にて

「絆…inふくやま」に参加した。

《ダンス部》

現在、中高合わせて、部員33名。ほつま祭での舞台成功を目標に、各学年ごとにまとまり、日々練習に励んでいる。

《中陸上競技部》

岡山県中学校陸上競技選手権において、西森翔真が走幅跳で8位。安福柘汰が100mで準決勝に進出した。

第39回岡山県中学校混成競技記録会において、谷本きなりが100mで3位。西森翔真が走幅跳で7位に入賞した。

《高陸上競技部》

第56回岡山県高等学校総合体育大会において、山下朋紀が8種競技で優勝、110mハードルで2位。眞田明日香が砲丸投で優勝、ハンマー投で5位。乾俊介が400mで2位。谷野光琉が三段跳で2位、走幅跳で5位。大原健太郎・塚本航平・谷野光琉・山下朋紀が400mリレーで3位。清水美沙が5000m競歩で4位。上川湜太が5000m競歩で5位。三宅悠希が400mハードルで5位。仁平優宙が走幅跳で6位。土屋健太郎がやり投で6位。塚本航平が400mで8位に入賞した。

第70回中国高等学校陸上競技選手権大

会において、山下朋紀が8種競技で優勝、110mハードルで4位。乾俊介が400mで4位。谷野光琉が三段跳で6位。谷野光琉・大原健太郎・塚本航平・山下朋紀が400mリレーで6位に入賞した。

《高ラグビー部》

4月15日(土)、23日(日)に行われた中国高等学校ラグビーフットボール大会岡山県予選会に高松農業、鴨方との合同チームで参加した。1回戦は美作ラグビー場で合同B(岡山一宮、津山高専)と対戦し5-97で敗れ、2回戦は合同A(岡山朝日、岡山城東)と対戦し17-21で惜敗した。4月29日(土)、水島緑地福田公園で備中支部総体7人制の部に参加し、玉島に5-34、倉敷工業に7-40で敗れた。5月3日(水)、4日(木)には美作ラグビー場で行われる強化練習会に参加し、技術・体力の向上に努めた。6月3日(土)、4日(日)には岡山県総合体育大会15人制の部が、10日(土)には同7人制の部が開催された。15人制の部はBブロックに参加し、1回戦は関西に17-34で、2回戦は岡山城東に12-29で敗れた。7人制の部は1回戦で岡山城東に14-27で敗れるも、2回戦で岡山

一宮に35-5で勝利し、3年生にとつては有終の美を飾ることができた。

《中男子ソフトテニス部》

4月1日にびんご運動公園テニスコートで行われた第2回びんごスプリングカップ中学生ソフトテニス研修大会に4チームが出場し、Aチームが準優勝を果たした。5月には15名の新入部員を迎え、計48名で今年度の活動がスタートした。6月10日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われた備西支部大会に4ペアが出場し、高村・田中ペア、畑地・小田原ペアがベスト4、岡田・石丸ペアがベスト8、小野・片岡ペアが2回戦敗退であった。備南西地区大会のシードは第2シードに決定した。

《中女子ソフトテニス部》

4月、第2回びんごスプリングカップ中学生ソフトテニス研修大会(団体)に参加。5月、第11回びんごふくやま中学生ソフトテニス交歓大会(団体)で、第3位になった。6月、備西支部ソフトテニス部夏季合同練習会(個人4ペア・シード決め)に参加した。7月の備南西地区総合体育大会に向けて、県大会出場を目指して、日々練習に励んでいる。

《高男子ソフトテニス部》

4月12日(土)、岡山県春季高等学校ソフトテニス選手権大会が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれ、2ペアが出場した。ともに1回戦で敗退した。

4月29日(土)には全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(個人)の備西地区予選会が笠岡総合スポーツ公園テニスコートでおこなわれた。6ペアが出場したうち、金川・福井組が第6位、石原・板阪組が第11位となり、県大会への出場権を得た。4月30日(日)には同笠岡総合スポーツ公園テニスコートにて備西地区高等学校対抗ソフトテニス大会がおこなわれた。各校のAチームが出場する1部トーナメントでは、2回戦で玉島商業高校に1対2で敗れ、ベスト4入賞はならなかった。

そして6月3日(土)、全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(団体)の岡山県予選会が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれたが、1回戦で倉敷翠松高校に0対3で敗れ、初戦で敗退した。続いて10日(土)に同大会(個人)の岡山県予選会が浦安総合公園でおこなわれた。地区予選を勝ち抜いた2ペアが

出場したが、ともに1回戦で敗退した。

《高女子ソフトテニス部》

4名の新入部員を迎え、計8名で今年度の活動がスタートした。

4月22日・23日に倉敷運動公園テニスコート及び福田公園テニスコートで行われた春季高校選手権《個人》に2ペア出場し、いずれのペアも3回戦敗退。4月29日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われたインターハイ・中国大会備西地区予選《個人》に4ペアが出場し、塚岡・向ペアが準優勝、畠山優・畠山佳ペアがベスト4で県大会出場権を獲得。4月30日に同会場で行われた備西地区総体(ソフトテニス競技《団体》)では、井原B・玉島商業に勝利したものの、決勝で玉島Aに敗れて準優勝であった。6月3日に福田公園テニスコートで行われたインターハイ・中国大会岡山県予選《団体》では、1回戦で笠岡商業に勝利したものの、2回戦で倉敷南に敗れた。6月10日に浦安総合公園テニスコートで行われたインターハイ・中国大会岡山県予選《個人》に備西地区予選を突破した2ペアが出場し、いずれのペアも2回戦敗退。この段階で3年生2名は引退し、新チー

ムがスタート。6月24日に浦安総合公園テニスコートで行われた団体1次予選に2ペア出場し、2回戦までに敗退。このほか、各種大会・練習試合を通して、技術の向上に努めている。

《中卓球部》

3月20日に笠岡市卓球選手権大会(団体の部)に参加した。男子団体で乙島TCに3-1、総社に3-1で勝ち、決勝トーナメント1回戦で操山に3-2で勝ち、準々決勝で木之子に0-3で敗れたがベスト8に入った。

4月2日にチェリーカップ・オープンに参加した。男子団体で予選リーグでMTC鳥取Bに0-3、ばらの町卓球場に0-3、木之子Bに0-3で敗れ予選敗退であった。

4月16日に笠岡市卓球選手権大会(個人の部)に参加した。男子個人で中2東がベスト32に入った。

5月3日、4日に岡山近府県卓球選手権大会に参加した。男子団体で予選リーグで石井に3-0、新居浜南に0-3で予選敗退であった。

5月7日に井原競技力別大会に参加した。男子団体では3位に入賞した。男子

ダブルスでは中2原田・東組が優勝、中3板垣・中3佐能組がベスト4に入った。6月10日、11日に備西支部合同練習会に出場した。男子団体では5戦全勝で優勝した。男子個人では中3山本が優勝、原田がベスト4、板垣がベスト8、佐能と中2関藤と中2瀬良と東がベスト16に入った。

《高卓球部》

3月12日に岡山県団体総合卓球選手権大会に出場した。女子団体で予選リーグを全勝し、準決勝でユース・リゲインに2-3で敗れたが3位に入賞した。

3月20日に笠岡市卓球選手権大会(団体の部)に参加した。男子団体では予選リーグで操山中に3-1、岡山芳泉Bに3-1で勝ち、決勝トーナメント1回戦で水島工に1-3で敗れた。女子団体では予選リーグで岡山操山Dに3-0、城見卓球に3-0、倉敷天城Aに3-1で勝ち、決勝トーナメント準決勝で岡山芳泉に3-2、決勝で金光学園OGに3-1で勝ち優勝した。

3月29日・31日に高校オープン卓球大会に参加した。男子団体では予選リーグ2勝3敗で4位となり、4位リーグで3勝6敗であった。女子団体では予選リーグ

で2勝3敗で3位となり、3位リーグで4勝4敗であった。

4月2日にチェリーカップ・オープンに参加した。男子団体では予選リーグで笠岡工Bに3-0、倉敷天城に3-1で勝ち、準々決勝で岡山操山Bに3-0、準決勝で鳥取敬愛Bに3-2で勝ち、決勝で鳥取敬愛Aに1-3で敗れたが準優勝であった。女子団体では予選リーグで倉敷天城に3-0、鳥取敬愛Bに3-1で勝ち、準々決勝で須波ハイツに3-2で勝ち、準決勝で鳥取敬愛Aに2-3で敗れたが3位に入賞した。

4月16日に笠岡市卓球選手権大会(個人の部)に参加した。男子一般の部で高2升本がベスト16に入った。女子一般の部で高3内山がベスト4、高3東と高3藤澤がベスト16に入った。

4月29、30日に岡山近府県卓球選手権大会に出場した。男子団体では予選リーグで米子高専に0-3、滝川第二高Aに0-3、OKTに0-3、ほっとプラザ5Fに2-3で5位であった。女子団体では予選リーグでユース・リゲインに0-3、就実中に0-3、育英高に0-3、高松商に3-1で4位であった。

5月5、6日に全国・中国高校卓球選手権大会岡山県予選会に出場した。男子シングルスでは高3唐川と升本がベスト64に入った。女子シングルスでは藤澤がベスト32、内山と高3中務と高3西原と東がベスト64に入った。男子ダブルスでは唐川・升本組がベスト16、高2古賀・高1瀬良組がベスト64に入った。女子ダブルスでは内山・藤澤組と中務・東組がベスト16に入った。

6月3、4日に県総体に出場した。男子団体では1回戦で玉野商業に3-1で勝ち、2回戦で岡山工業に3-2で勝ち、3回戦で津山高専に0-3で敗れたが、ベスト16に入った。女子団体では2回戦で玉野商業に3-0で勝ち、3回戦で倉敷古城池に3-1で勝ち、準々決勝で興陽に3-1で勝ち、決勝リーグで山陽女子に0-3、就実に0-3、岡山東商に2-3で敗れたがベスト4に入り、中国大会出場を決めた。

6月16、17日に中国高等学校卓球選手権に女子団体で出場した。1回戦で米子高専(鳥取)に3-0で勝ち、2回戦で進徳女子(広島)に0-3で敗れたが、ベスト16に入った。

1-1)、対津山工業B(1-2)。カップ戦では、対出雲西A(4-2)、対津山工業(0-1)、対城東(1-2)、対槻の木(0-1)。3月26日と31日に練習試合を行った。対岡山(30分×3)(3-1-1)、対おかやま山陽(30分×4)(2-1-5)。4月30日、県総体備中地区予選は、対矢掛(2-0)で勝利し、県大会出場が決定した。5月28日、県大会1回戦は、対西大寺(2-3)で惜敗。高円宮杯U-18サッカーリーグ2017OKAYAMA

Aチャレンジリーグの初戦、5月5日、対玉島(3-2)。5月13日・14日に行われた備中支部総体(備西地区の部)では、二次リーグで、対玉島商業(6-1)。1位トーナメントで、対龍谷(2-1)、対玉島(1-0)で勝利し、見事優勝した。31年ぶりのようである。新人大会、県総体、備西大会において、近年では最も良い成績を収めた。引退する3年生の残してくれた財産を受け継いで、また新チームが動き出す。

《中野球部》

4月29日、30日、5月3日に笠岡市営球場などで行われた第12回笠岡東ライオンズクラブ杯では、1回戦は美星・芳井

中学校に1-0で勝利し、2回戦は小北中学校に7-0で勝利した。準決勝は笠岡西中学校に6-0で勝利し、決勝戦は8-0で矢掛中学校を下し、2年連続4度目の優勝を果たした。3年5組の高橋駿生くんが最優秀選手賞を獲得した。6月10日、11日に笠岡市営球場などで行われたシード決め大会では、決定戦で、7-0で木之子中学校を下してシードを獲得した。

《高野球部》

3月25日開幕した春季岡山県高等学校野球大会西部地区予選は笠岡商業に2対6で敗れ、続く二戦目は倉敷青陵高校に9対1で勝利するも、三戦目の高梁日新高校に3対5で敗れて予選敗退となった。

7月14日からは第99回全国高等学校野球選手権岡山大会がはじまり、金光学園の初戦は7月18日9時よりマスカットスタジアムで玉野商業高校と対戦する。

《中男子バスケットボール部》

5月4・5日に笠岡市民体育センターにて、県内外から12チームが集まり、第3回やつなみカップを開催した。一日目は、興除中・広中央中に勝利するも、浜田第二中に敗れ、Bグループ2位で翌日

《中サッカー部》

3月20日に西備地区ユース大会が金光中学校で行われた。鴨方中学校に0-1で負け。金光中学校に5-1で勝利。総社西中学校に2-1で勝利した。

5月3日・4日に倉敷招待大会が総社河川敷、新田中学校で行われた。真備東中学校に1-4で負け。落合中学校に0-1で負け。野の池中学校に1-1で引き分け。新田中学校に2-1で勝利。サウデイーに0-2で負け。福南中学校に7-0で勝利した。

6月10日・11日に支部大会が寄島三ツ山公園で行われた。矢掛中学校に1-2で負け。笠岡東中学校に4-0で勝利。里庄中学校に1-4で負け。寄島中学校に0-0で引き分けた。結果シードを勝ち取る事ができなかった。

《高サッカー部》

3月11日と12日に練習試合を行った。対おかやま山陽B(2-2・3-1・1-0・0)。対社会人チーム(25分×5・35分)(8-4)。3月18日・20日、第7回浅口カップが行われた。交流戦で、対神辺旭A(1-0)、対出雲B(0-1)、対FC廣学館A(1-3)、対出雲西B(1-

の1-2位トーナメントに進出した。二日目は、初戦で児島中に敗れ、3位決定戦で桜が丘中と対戦し、惜敗した。結果として、4位で大会を終えた。6月10日に行われた支部合同練習会では、地区内全チームとハーフゲームで対戦し、全勝で地区大会での第一シードを得ることができた。

《高男子バスケットボール部》

4月15・16日に行われた、第70回岡山県高等学校バスケットボール春季優勝大会備中地区予選会に参加した。1回戦、倉敷商業高校に67-37で勝ち、2回戦、倉敷南高校に56-44で勝ち、ブロック決勝に進んだが、水島工業高校に67-64で惜敗し、県大会出場を逃した。

5月6日・7日に行われた、平成29年度備中支部総合体育大会バスケットボール競技の部に参加した。1回戦、倉敷高校に55-38で勝ち、ブロック決勝に進んだが、玉島高校に42-47で惜敗し、県大会出場を逃した。

《高女子バスケットボール部》

4月15日(土)・16日(日)に、第70回岡山県高等学校バスケットボール春季優勝大会備中地区予選会が行われ、第二

試合、井原高校に12―22で、ブロック決勝で笠岡商業高校に75―54でそれぞれ勝ち、県大会出場を決めた。4月22日(土)に行われた県大会で、作陽高校と対戦し47―70で一回戦敗退。5月7日(日)に行われた第56回岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール備中予選会が行われ、清心高校に102―40で勝ち県総体岡山県予選会出場を決めた。この代の目標であったベスト8を目指し、6月11日(日)に行われた県大会に臨んだが善戦むなしく岡山南高校に56―68で負けた。

《中男子バレーボール部》

6月に行われた備西支部大会では新入生や2年生中心の次期チームの力試し的な試合として頑張った。まだまだ力不足を感じながら現チームの底上げにもつながる大会となった。夏の全国大会(宮崎県)を目指して、これからも皆さんのおかけをいただきながら、日々精進していきたい。

《中女子バレーボール部》

6月10・11日に行われた備西支部夏季合同練習会に笠岡中学校との合同チームで臨み、一日目予選リーグで金浦中、里庄中、小北中に勝利した。二日目の決勝トーナメントでは笠岡東中、矢掛中、

鴨方中に勝利し、支部一位となり7月の地区大会でのシード権を獲得した。

《高男子バレーボール部》

新入部員8人を加え、今年度は21人でスタートした。4月に行われた春季県大会では準決勝で津山工業にストレートで勝利し、決勝戦で岡山東商業に0―2で負け準優勝だった。備西大会では4年連続で優勝した。そして、6月にはインターハイ予選があり、3回戦、勝山、準々決勝、関西、準決勝、津山工業に勝利し、決勝戦、岡山東商業に0―2で負け準優勝で終わった。11月にある春高予選で優勝するために頑張っていきたい。

《中柔道部》

3月29日に愛媛県で行われた松山城東ライオンズ杯に男子個人戦として大谷武市・森永慧之・坂田迅・蓮野誠一郎・廣井愷・趙壮済・藤本裕太が出場したが、全員予選敗退であった。

5月8・9日に校内1日入部が行われ、

中学1年横山莉生・平田大輝・高谷圭佑・柴田真喜人・教海隆太の5人が入部した。

《高柔道部》

3月25・26日に愛媛県で行われた国体強化錬成大会、27日に広島県で行われた

西日本錬成大会にそれぞれ参加し、他県の選手と団体試合を中心に練習を行った。

4月22日・23日に岡山武道館で行われた中国高等学校柔道大会岡山県予選会において、男子団体は予選リーグで勝間田高校に4―1で勝ち、おかやま山陽高校に0―4で敗れ、予選敗退した。個人戦では高3戸田・高2十倉が2回戦敗退。高3黒川・高2虫明・高2橋高・高1森永・高1長田・高1宮口史穂・高1宮口史穂が1回戦敗退した。

6月3日・4日に岡山武道館で行われた岡山県高等学校総合体育大会において、男子団体は1回戦で玉野高校に5―0で勝ち、2回戦でおかやま山陽高校に0―4で敗退した。女子団体は1回戦で高松農業高校に1―2で敗退した。男子個人戦では高3戸田が60kg級でベスト8、高3黒川・高2虫明・高1宮口史穂が2回戦敗退。高2橋高・高2十倉・高1森永・高1長田・高1宮口史穂が1回戦敗退した。

《中剣道部》

《第24回ワコー杯大会》3月12日(日)、笠岡小学校体育館で開催され、亀山裕汰(当時2年)が2回戦敗退。新谷理駆(当時2年)が3位であった。

《高剣道部》

《国体予選会》4月16日(日)、ジップアリーナ岡山で開催され、池田弦輝(2年)、日名啓介(2年)が2回戦敗退。石原湧大(2年)が3回戦敗退であった。《中国大会予選会》4月22日(土)、23日(日)、笠岡総合体育館で開催され、日名が1回戦、池田と石原が2回戦敗退。団体試合は2回戦で天城高校に0対4で敗れる。この試合が平川龍之介(3年)の引退試合、長谷川大輝(2年)のデビュー戦となった。試合後、平川の引退式を行い、健闘を称えた。

《備中支部大会》5月13日(土)、玉島の森体育館で開催され、2回戦で総社高校に1対4で負け。敗者復活戦は共生高校に0対5で敗れた。

《県高校総体》6月3日(土)～4日(日)、笠岡総合体育館で開催され、池田、日名が共に2回戦敗退であった。

《中少林寺拳法部》

6月11日に行われた第10回岡山県中学生少林寺拳法大会に出場した。男子単独演武に出場した中2塩路雄也は4位、中3難波拓也と中3坂本莉来は同点で5位、中3都築駿一は12位となった。女子

単独演武に出場した中3能勢采奈は9位、中3塩谷明美と中3難波朋楓は同点で10位となった。女子組演武に出場した中2虫明紗桜理・難波日奈子組は7位だった。女子団体演武の部では、能勢・塩谷・難波朋・笠原・虫明・難波日が出場し、第1位となった。塩路・難波拓・坂本・能勢・塩谷・難波朋・虫明・難波日は、8月に行われる全国中学生少林寺拳法大会の出場権を得た。

《高少林寺拳法部》

6月3日に行われた第56回岡山県高等学校総合体育大会に出場した。男子単独演武に出場した高3友田直陽が3位入賞。高2佐藤謙成は4位、高3山中信助は6位、高2谷聡一朗は8位、高2衛本は11位となった。女子単独演武に出場した高3井上日和は第1位、高2池田芽生は4位となった。女子組演武に出場した高2池田朱里・森藤由衣組は、5位だった。高3井上は中国大会、インターハイの出場権を、高3友

田は中国大会の出場権をそれぞれ得た。

6月18日に行われた、平成29年度中国高等学校少林寺拳法大会に出場した。男子単独演武に出場した高3友田直陽は5位、女子単独演武に出場した高3井上日

和は第1位となった。

《花道同好会》

毎週火曜日に宗教教室で兼信先生の指導の下、熱心に稽古している。

《歴史研究同好会》

「歴史フォーラム」に参加する研究論文の作成に取り組んでいる。

《家庭科同好会》

新入部員2名が入部。1学期期末考査後から活動開始予定。

《かるた同好会》

今年度から新設され、週2回、宗教教室で競技かるたの練習を行っている。5月7日には岡山市立市民屋内温水プールの和室にて、第41回全国高等学校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」岡山県代表選考会が開催され、高2の谷口史佳と南花怜が出場した。南花怜は全国大会出場まであと1勝まで迫ったが、惜しくも勝利を逃してベスト16となった。

《バドミントン同好会》

高校1年生、高校2年生の新入部員を迎え、総勢18人でスタートしました。今年度は、県の公式試合に出場を希望する新入部員がおり、今後の同好会の活性化が楽しみです。

この先、大きな壁にぶつかれることもあると思いますが、先生方、家族、友人など多くの人に支えて頂きながら、乗り越えていきたいと願っています。

また、4月21日、22日には、高1が福山のツネイシしまなみビレッジ、中1は校内で入校時合宿を行います。全員が所期の目的を達成し、安全に過ごせるようよろしく願います。

◇教主金光様のおこぼ

皆さん、おめでとございます。今日も明日もあさっても、皆、今日今日になります。どうぞ、『お世話になるすべてに礼をいう心』をもって、今を大切に、今申されました願いに沿って勉強を進められ、おかげを頂かれますよう、祈つてやみません。

なんでも相談室 毎週水曜日は午前11時から午後5時まで第1相談室で開設され、学校カウンセラーがカウンセリング・助言・支援を行っている。

街頭交通指導 4月6日から17日まで教員が通学路に立ち、交通安全・交通マナーについての指導を行った。

検尿 4月12・13日に検尿を実施した。
沖繩修学旅行 4月16～18日、中3は

沖繩を訪れた。金光教那覇教会の林先生の講和や平和集会、折り鶴献納などを通じて平和について考えると同時に沖繩の歴史や自然についても学習した。今年度は初めて民泊を行ったが、大変好評であった。

入校時合宿 4月21・22日、中1が入校時合宿を行い、校内に宿泊した。学園歌コンクール、町内クリーンオリエンテーリングや夜の集い(集団ゲーム・キャンドルサービス)などを通じ、親睦を深め、集団生活の規律を学んだ。

学習合宿 4月21・22日、高1は広島

の「ツネイシしまなみビレッジ」で学習合宿を行い、高校生としての学習習慣を確立するための方途を学び、親睦も深めた。
総合健康診断 中学は4月26日に、高校は27日に、身体測定と内科・歯科・視力・聴力(3年)の検診が行われた。

人権講演 4月28日、高3は元県立岡山盲学校教頭の竹内昌彦先生による講演

「私の歩んだ道」見えぬ涙ありのお話の「私」を聞き、笑いあり涙ありのお話の中から今後の人生への示唆を受けた。

やつなみ保護者会総会 4月29日、1

限に授業参観、2限に学級会、3・4限に総会と講演が行われた。講演は、合唱

作曲家の弓削田健介先生の「いのちと夢のコンサート」であった。

心電図 5月1日に中1を、2日に高1を対象に実施した。

胸部X線撮影 5月2日、高1を対象に実施した。

人権教育 中1は4月25日に、いじめ・携帯トラブルについてのDVDを視聴し、アンケートをとった。5月26日には、その結果を通信にまとめたものを元に、今何ができるかをクラスで話し合い人権宣言を作成した。

避難訓練 5月8日、全生徒・教職員を対象に避難訓練を行った。

探究講演会 5月15日、中3・高1探究クラス・保護者を対象に、K. I. T. 虎ノ門大学院の三谷宏治先生に講演をしていただいた。

教育相談保護者会 5月20日、安原こ

ずえ先生を講師に迎え「自己肯定感を育てましょう」という演題で話をうかがい教職員・保護者との交流が行われた。

教育実習 5月22日から6月17日までの期間、卒業生10名が2週間ないし3週間の実習を行った。

山の学習 5月23～25日、中2は第50

回山の学習(大山登山・キャンプ)を行った。1日目は晴天に恵まれ大山登山を行ったが、2日目は雨のためにキャンプファイヤーが中止となった。3日目は天候が回復し、野外活動を行うことができた。充実した3日間を過ごし、大山の山頂では強風に吹かれながらも美しい景色を堪能した。

性教育 中3は5月9日と16日に、男女交際や性感染症・避妊について学習した。また、中2の生徒と保護者は6月15日に、ウイメンズクリニック上村茂仁先生による講演「恋をしてもしなくても、ぜひみんなに聞いてほしい話」を聞いた。

23日には講演の感想や事前アンケートを用いてクラス毎にフィードバックを行った。

教科担当者会議

中学校において、日頃の授業の様子や中間テストの結果についての情報が交換され、個々のすぐれた点や改めたい点が指摘検討された。

高3読書会

6月2日、希望の本別に13のグループに分かれて、お互いの意見を交換した。

塾対象学校説明会

6月6日、塾の先生を対象に学校説明会を行い、金光学園

の学習や行事、部活動などについての現状を詳しく説明した。また、午前中には全学年の授業を公開した。

耳鼻科検診 6月8日に中1、9日に

高1を対象に実施した。

眼科検診 6月8日に中1と中3、9

日に高1と高3を対象に実施した。

中3進路学習 6月9日に進路課長の

藤井幹久教諭から進路についての話を聴いた。

音楽奉仕 6月10日、教団独立記念式

において音楽部が音楽奉仕を行った。

高2修学旅行 6月13日～17日にシン

ガポール・マレーシア班は現地学生との交流やホームステイを体験した。12日～17日にオーストラリア班は南半球のクイーンズランド州のアサートンでファームステイなどを体験した。12日～16日に北海道班は北の大地の自然や文化・歴史にふれた。(紀行文は次号に掲載)

大学説明会

6月23日、岡山大学・広島大学から教職員の方に来て頂き、高1を対象に大学の概要・学部学科や入試制度の説明をして頂き、相談にも乗って頂

学校説明会

いた。
6月24日、金光学園の受

験希望者と保護者を対象とした学校説明会を行い、午前中に全学年の授業を公開した。

進路委員会 6月29日・30日、高3学

年団は学力の現状分析と今後の指導方針を検討した。

英語検定試験実施 7月2日(日)第

1回の英語検定2次試験が本校の高校棟を利用して実施された。

高3 1学期終業式 7月19日、3年生

は大講義室で1学期終業式を行った。

お悔やみ 藤井幹久先生の御尊父には

4月19日に、久繁正人先生の御尊父には

4月27日に、籠崎恒祐先生の御尊父には

5月19日に、脇本知子先生の御義父には

6月12日に、山口洋子事務職員の御尊父

には7月2日にご逝去、謹んでお悔やみ

申し上げます。

教室の窓から

留学生と仲間「田植え体験」

通称、ロ口 (Mabesone Harako Aurore) さんが高校1年6組に来てから早や2か月半になるうとしていて。彼女は、今年度フランスのコンピエーニュの町(フランス北部、ジャンヌ・ダルクゆかりの地)から来た留学生。彼女のおかげで、生徒もいろいろな体験を積んでいる。今回は、日本文化の体験。6月17日(土)の午後、初めての「田植え」体験を行った。金光町で田植え体験のイベントがあるので参加してみませんか、学年主任から声がかかったことがきっかけ。彼女に相談すると、貴重な体験ができると二つ返事で引き受けた。クラスから数人の友達も一緒に参加することになり当日を迎えることとなった。

当日は、快晴で午後には日差しも強くなり、梅雨入りを感じさせない天気。参加者はイベントを企画された金光町須恵の地域の方々や小学生とその家族、さらには浅口市の地域おこし協力隊から参加された社会人、そして本校からロ口と3人の仲間たち。現地へタクシーで到着後、参加者による自己紹介をすませ、さっそく準備に取りかかった。

3畝(90坪)ほどの田んぼはすでに水を張って整えられており、ベテラン指導者の菰口先生から苗の束の作り方や植え方の指導を受けた後、いざ田んぼの中へ。田んぼへ入るのは初めてのため、最初は足が深く入り込んで、歩くこともままならない状態だったが、生徒から足の裏の感

触が気持ちいいという声も出るほど。すでにズボンやTシャツが泥だらけの小学生は田んぼの中を歩き回り、気分は最高潮。

田んぼの両サイドから紐を張ってもらい、横一列に20数人が並び、一斉に苗(4〜5本)をつかんで紐に付いた赤い印に合わせて苗を植えていく。苗と苗の間は25センチくらい。苗の束を左手に持ち、右手で差し込んでいく。最初は苗の本数にばらつきもあり、慣れる姿もところどころに高校生らしく、植えた所は上から見ると苗が整然と並んで美しい。一方小学生の後を見ると苗の量にむらがあったりするのが分かる。でも、これはこれで小学生らしさを感じられてとってもいい。

ロ口は植えながら隣の社会人のお姉さんや小学生と話をし、打ち解けて、すっかりコミュニケーションをとっている。小学生の口からは英語の単語や文が立て続けに出てくる。ほほえましい光景が当たり一面に広がる。一方、本校の高校生も指導員の菰口先生や定金区長さんと楽しそうに会話をしながら進めている。最初は時間がかかっていったものの、3畝の田んぼは予定の1時間で無事終えることができた。参加者の中には、2年前、本校に勤務されていた山口先生が、浅口市の広報の仕事で取材に来ており、参加した生徒との思わぬ再会に会話も弾んでいた。今回植えた苗が秋には実りの穂をつけることを今から楽しみにしている。参加したロ口や生徒の心にも貴重な日本文化の種がまかれたに違いないと勝手に想像する。無事終えられたことが何よりの収穫だった。

編集後記

縁あって、7月6日に実施された芸術鑑賞会「英語落語」の舞台仕込みに立ち会った。わずか3人で来校したスタッフはまぎびきびとした動きで、見慣れた小体育館のステージをあとという間に寄席の舞台へと作り変えてしまった。

中央に設えられた真つ赤な高座が実にいい。落語家は嘶の前に扇子を正面に置いてお辞儀をする。この扇子は演者と観客とを区切る結果を意味するのだという。たとえ嘶家が座っていないなくても、高座が一つあるだけで、舞台は聖域と呼ぶに相応しい凛とした空気が漂っていた。

この立派な高座、緋毛氈の下はプラスチック製の大きな植木鉢をいくつか逆さに並べた簡素な作りになっている。軽い上に重ねて持ち運びできるため、地方公演の際には大変便利であるらしい。本番の前に嘶家ならぬ裏方の技を目にするのができたのも、味わい深い体験であった。

さて、本件の英語落語については、次号に生徒の感想文を掲載するので乞うご期待。まずは、7月号らしく新入生や新任教員、やつなみ保護者会新役員の手によるフレッシュな記事をお楽しみいただきたい。

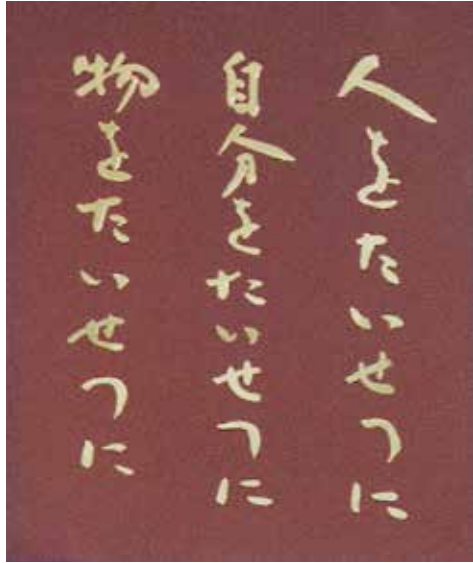
平成29年7月11日印刷
7月15日発行

編集者 金光学園やつなみ保護者会
やつなみ編集部
印刷所 倉敷市船穂町船穂二〇九五一―一
玉島活版所
発行所 浅口市金光町古見新田一三五〇
金光学園内
金光学園やつなみ保護者会

中3 沖繩 修学旅行



中2 山の学習



◎ほつま = 秀真

非常に優れ整い備わっていることの意。

「日本という国」の古異名の一つ。

創立後、生徒会や冊子の名に使用。

ほつま体育館、ほつま祭などで使われる。

.....
◎やつなみ = 八波

どこまでもひろがり栄えゆく願いをこめる。

金光教・学園・中学・高校の徽章のふちどり。

P T A機関誌創刊当時、会員から公募してつけた。

人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに

<http://www.konkougakuen.net>

E-mail info@konkougakuen.net